

1985年度栗東町埋蔵文化財
発掘調査 資料集



2001. 11

栗東市教育委員会
（財）栗東市文化体育振興事業団

1985年度栗東町埋蔵文化財
発掘調査資料集

2001. 11

栗東市教育委員会
(財)栗東市文化体育振興事業団

例 言

1. 本書は、1985（昭和60）年度に栗東町教育委員会・財団法人栗東町文化体育振興事業団が実施した埋蔵文化財発掘調査について1999（平成11）年に実施した整理調査の成果を報告するものである。
2. 現地調査は滋賀県教育委員会の指導助言を得て、栗東町教育委員会を主体として財団法人栗東町文化体育振興事業団が実施した。なお国庫補助事業および町事業の調査は栗東町教育委員会が実施した。整理事業は栗東町教育委員会の委託を受け、財団法人栗東町文化体育振興事業団が実施した。

3. 整理調査の体制は、以下の通りである。

栗東町教育委員会	生涯学習課	課 長	奥村 明
	文化財保護係	係 長	清水 好洋
		主 査	松村 浩
		主 事	吉田みず穂
財団法人栗東町文化体育振興事業団			
	埋蔵文化財調査課	課 長	仙石 龍岳
	調査係	係 長	大崎 隆志
		主任技師	雨森 智美

4. 本書の執筆・編集は現地調査担当者の意向のもと、雨森が行った。
5. 調査内容中の調査地位位置図は、特に指定しているもの以外は全て5千分の1である。
6. 調査内容中の表にある文献の内容は本書末尾に記載した。
7. 調査内容中の出土遺物実測図は、図化した遺物の全点を掲載するものではない。
8. 整理作業参加者

調査員	畑本 陽子	森 智美
整理員	奥村美枝子	岩根 隆子
	木村三津子	宍戸 貴子
	宮嶋八重美	

表紙の写真：土壇群（縄文時代）

〔靈仙寺遺跡（85R033-01）〕

右の写真：土師器

〔高野遺跡（85R092-02）〕



目 次

目 次	1
遺跡位置図	2
調査一覧表	5
1 辻遺跡 (85R003-01)	6
2 辻遺跡 (85R003-03)	12
3 辻遺跡 (85R003-02)	18
4 辻遺跡 (85R003-05)	19
5 辻遺跡 (85R003-04)	20
6 辻遺跡 (85R003-06)	22
7 蜂屋遺跡 (85R022-01)	23
8 林遺跡 (85R009-01)	24
9 林遺跡 (85R009-02)	25
10 手原遺跡 (85R025-01)	26
11 手原遺跡 (85R025-03)	27
12 手原遺跡 (85R025-02)	28
13 手原遺跡 (85R025-04)	30
14 中沢遺跡 (85R034-01)	31
15 靈仙寺遺跡 (85R033-01)	32
16 椿山遺跡 (85R039-01)	34
17 椿山遺跡 (85R039-02)	35
18 中村遺跡 (85R057-01)	36
19 金勝寺遺跡 (85R071-01)	38
20 野尻遺跡 (85R088-01)	40
21 野尻遺跡 (85R088-03)	41
22 野尻遺跡 (85R088-02)	42
23 高野遺跡 (85R092-01)	44
24 高野遺跡 (85R092-02)	45
25 高野遺跡 (85R092-04)	48
26 高野遺跡 (85R092-05)	50
27 高野遺跡 (85R092-06)	51
28 高野遺跡 (85R092-07)	52
29 縄遺跡 (85R093-01)	53
30 下鉤遺跡 (85R095-01)	54
31 下鉤遺跡 (85R095-02)	55
32 下鉤遺跡 (85R095-03)	56
33 下鉤遺跡 (85R095-05)	57
34 下鉤遺跡 (85R095-06)	58
35 下鉤遺跡 (85R095-07)	60
36 下鉤遺跡 (85R095-08)	62
37 下鉤遺跡 (85R095-04)	64
38 小柿遺跡 (85R100-01)	65
39 小柿遺跡 (85R100-02)	66
40 小柿遺跡 (85R100-03)	67
参考文献	68

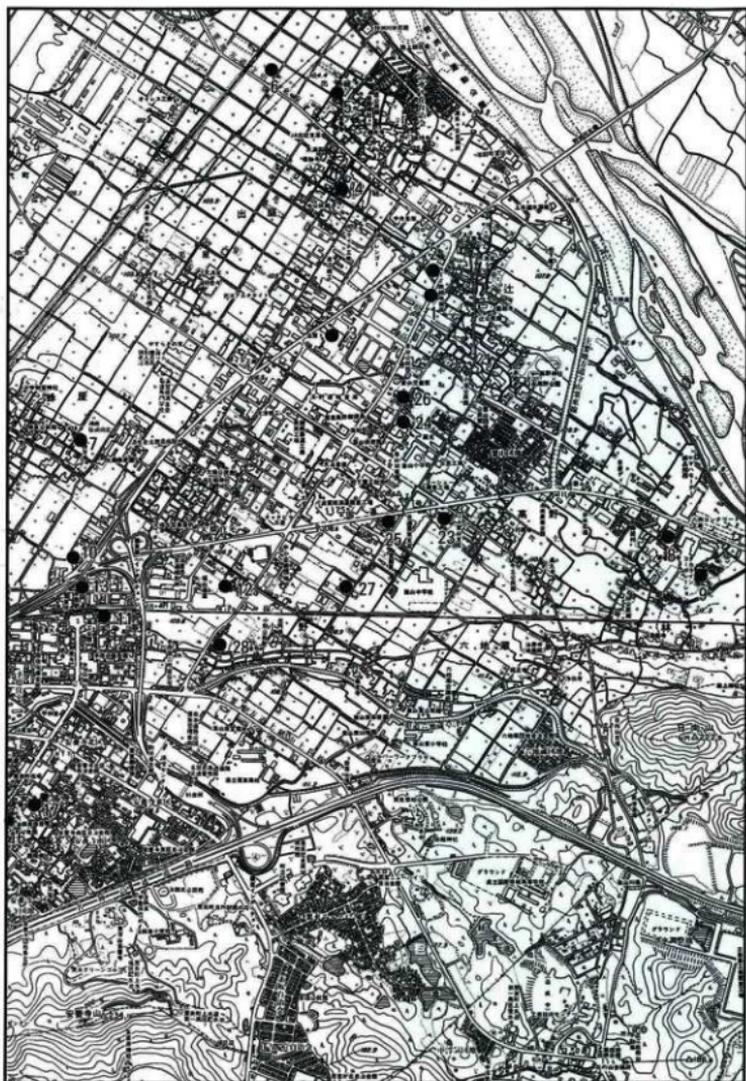


土器を実測する



土器を復元する

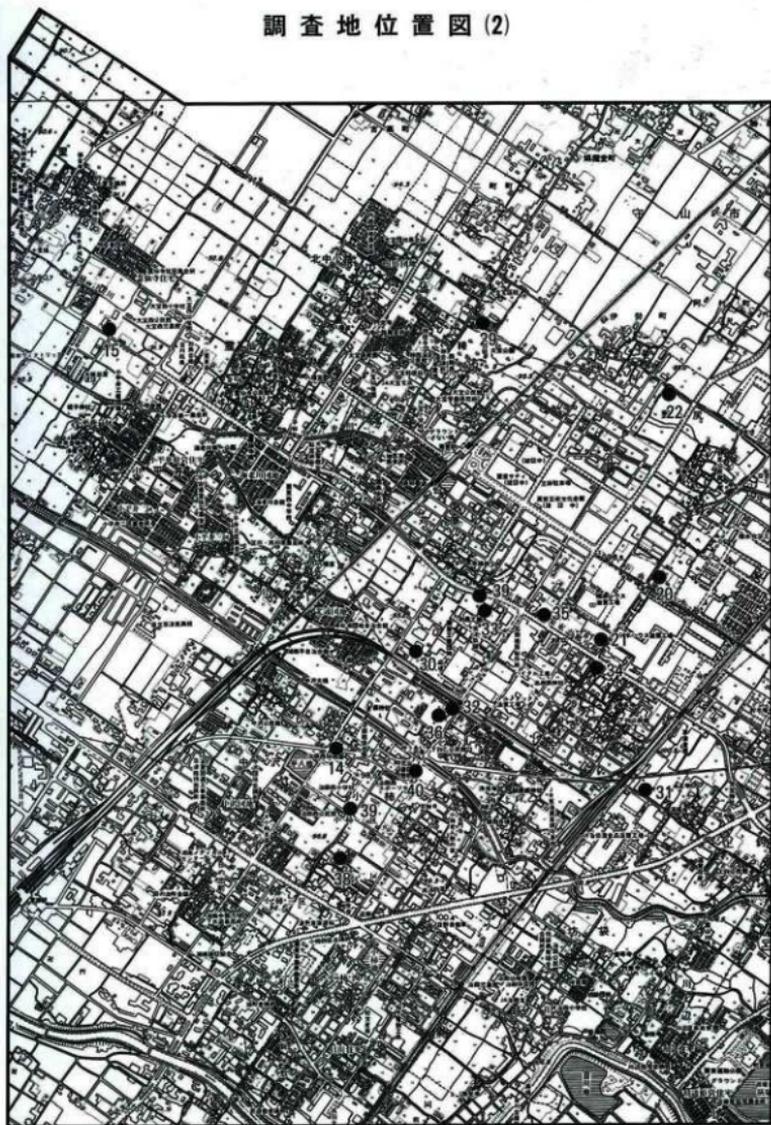
調査地位置図(1)



(※番号は5頁参照)

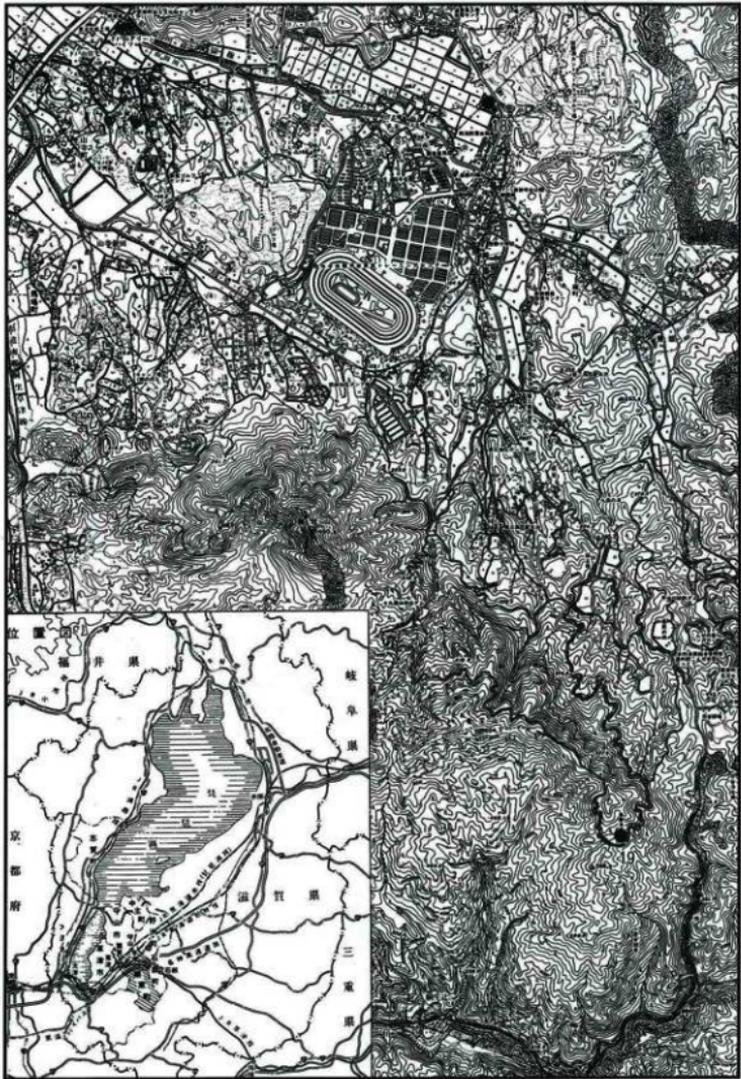
(1:20,000)

調査地位置図(2)



(1:20,000)

調査地位置図(3)



(1:40,000)

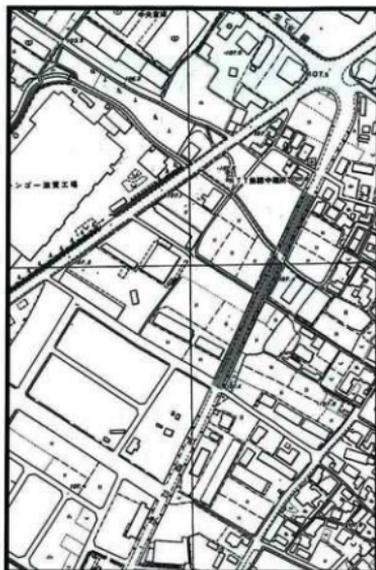
1985年度調査

番号	遺跡名	調査略号	所在地	遺構	遺物	頁
1	辻遺跡	85R003-01	栗東町辻地先	竪穴住居・竪立柱建物・溝・土坑	須恵器・土師器・滑石製品および木製品	6
2	辻遺跡	85R003-03	栗東町辻字里ノ西448-1	竪穴住居・竪立柱建物・溝	須恵器・土師器・金属器・滑石	12
3	辻遺跡	85R003-02	栗東町辻字北朝議603-1ほか	溝	灰軸陶器・近世陶磁器	18
4	辻遺跡	85R005-05	栗東町出庭365	土坑	土師器・陶磁器	19
5	辻遺跡	85R003-04	栗東町出庭字長縄2059	溝・ビット・土坑	須恵器・土師器・石製品	20
6	辻遺跡	85R003-06	栗東町出庭字上舟子1913-4	竪穴住居・溝	須恵器・土師器・石製品	22
7	蜂屋遺跡	85R022-01	栗東町蜂屋字墓原52-2	溝・土坑	土師器・黒色土器	23
8	林遺跡	85R009-01	栗東町林500	溝		24
9	林遺跡	85R009-02	栗東町林			25
10	手原遺跡	85R025-01	栗東町手原字上水正172-1ほか	竪立柱建物・溝	須恵器・土師器・青磁・緑軸陶器	26
11	手原遺跡	85R025-03	栗東町手原字竹ノ花137-1	竪立柱建物・溝	須恵器・土師器・緑軸陶器・瓦・近世陶磁器	27
12	手原遺跡	85R025-02	栗東町大橋字六反田630	竪立柱建物・竪穴住居・井戸・溝	須恵器・土師器	28
13	手原遺跡	85R025-04	栗東町手原字西天神804	土坑・ビット・溝	瓦	30
14	中沢遺跡	85R034-01	栗東町中沢字遺立135	溝・ビット	土師器	31
15	霊仙寺遺跡	85R033-01	栗東町霊仙寺字新改245-1,246	沼沢地・土坑	縄文土器・弥生土器・石器	32
16	椿山遺跡	85R039-01	栗東町安養寺6-7-29	溝・ビット	須恵器・土師器	34
17	椿山遺跡	85R039-02	栗東町安養寺地先	落ち込み状遺構	埴輪	35
18	中村遺跡	85R057-01	栗東町御園地先	土坑	須恵器・瓦	36
19	金勝寺遺跡	85R071-01	栗東町茨張1394	礎石建物	土師器・灰軸陶器	38
20	野尻遺跡	85R088-01	栗東町野尻字馬拍子245-3	竪穴住居・竪立柱建物・溝	須恵器・土師器・磁石	40
21	野尻遺跡	85R088-03	栗東町野尻519-3	流路		41
22	野尻遺跡	85R088-02	栗東町下鉤字坂越673-1他	溝・ビット	弥生土器	42
23	高野遺跡	85R092-01	栗東町高野字ミハカ193-1	竪穴住居・溝	須恵器・土師器・土製勾玉	44
24	高野遺跡	85R092-02	栗東町高野字サカウ546-1他	竪穴住居・周溝墓・竪立柱建物・溝	須恵器・土師器・黒色土器・滑石製勾玉	45
25	高野遺跡	85R092-04	栗東町六地蔵1075-1他	周溝墓・土坑	土師器・整骨	48
26	高野遺跡	85R092-05	栗東町高野字下戸別当571-7	溝		50
27	高野遺跡	85R092-06	栗東町六地蔵字鍋田110	ビット		51
28	高野遺跡	85R092-07	栗東町小野字亥之子914-5	井戸	灰軸陶器・黒色土器・白磁	52
29	繪遺跡	85R093-01	栗東町繪857-2ほか	竪立柱建物・溝・落ち込み	弥生土器・須恵器・土師器・黒色土器	53
30	下鉤遺跡	85R095-01	栗東町下鉤字宮ノ北浦1170	溝・土坑	須恵器・弥生土器	54
31	下鉤遺跡	85R095-06	栗東町下鉤字砂子102	溝・ビット	須恵器・土師器	55
32	下鉤遺跡	85R095-02	栗東町下鉤字西浦1017-1	溝・ビット	須恵器・土師器	56
33	下鉤遺跡	85R095-03	栗東町下鉤字砂田1143	溝	須恵器・土師器・木製品	57
34	下鉤遺跡	85R095-05	栗東町下鉤字奥屋敷616ほか	竪立柱建物・溝・井戸	土師器・黒色土器・瓦器・陶器	58
35	下鉤遺跡	85R095-07	栗東町下鉤字大賀町913-1	竪穴住居・竪立柱建物・流路	縄文土器・須恵器・土師器・木器	60
36	下鉤遺跡	85R095-08	栗東町下鉤字西浦1000-1ほか	竪立柱建物・溝	須恵器・土師器	62
37	下鉤遺跡	85R095-04	栗東町下鉤字砂田1144-1ほか	溝・ビット	土師器	64
38	小楯遺跡	85R100-01	栗東町小楯地先	土坑・ビット	弥生土器・土師器・灰軸陶器	65
39	小楯遺跡	85R100-02	栗東町小楯391-1ほか	溝・ビット	須恵器・土師器	66
40	小楯遺跡	85R100-03	栗東町小楯地先	包含層	近世陶磁器	67

1. 辻 遺 跡

(85R003-01)

ふりがな	つじいせき
所在地	栗東町辻地先 北緯 35° 02' 07" 東経 136° 01' 02"
コード	321-003
調査期間	1985年5月27日～12月31日 1986年6月20日～10月31日
調査面積	1984.5㎡
調査原因	県道改修工事
調査担当	大崎隆志
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落
主な時代	古墳～平安時代
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物、溝、土塙
主な遺物	須恵器、土師器、滑石製品及び未製品
特記事項	文献5



調査地 遺構図



A地区



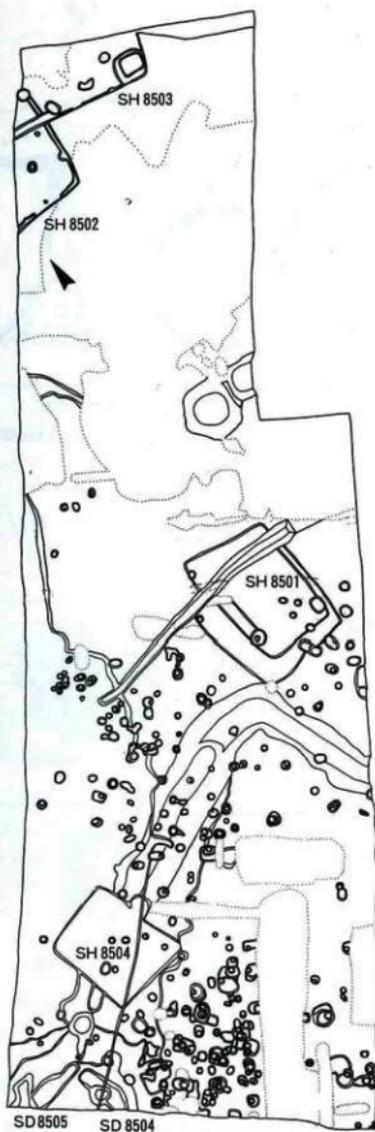
B地区



C地区

この調査区は野洲川より取水する今井川の北および南側に細長く設定されたもので、古墳時代～中世の遺構・遺物が大量に出土した。このうち古墳時代～飛鳥時代にかけての竪穴住居は90棟近く検出されている。住居の中には滑石製玉作関連遺物を出すものや、韓式系土器片を含むものがある。

平安時代には再び集落が形成されており、調査地北端部では当該期の土塙墓が検出されている。



<SD8503>



<SD8504>



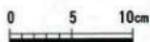
<SD8505>



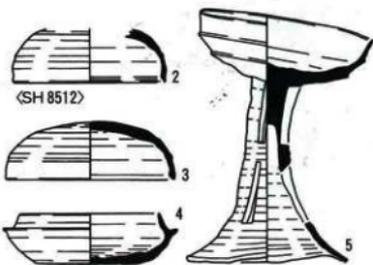
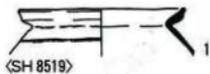
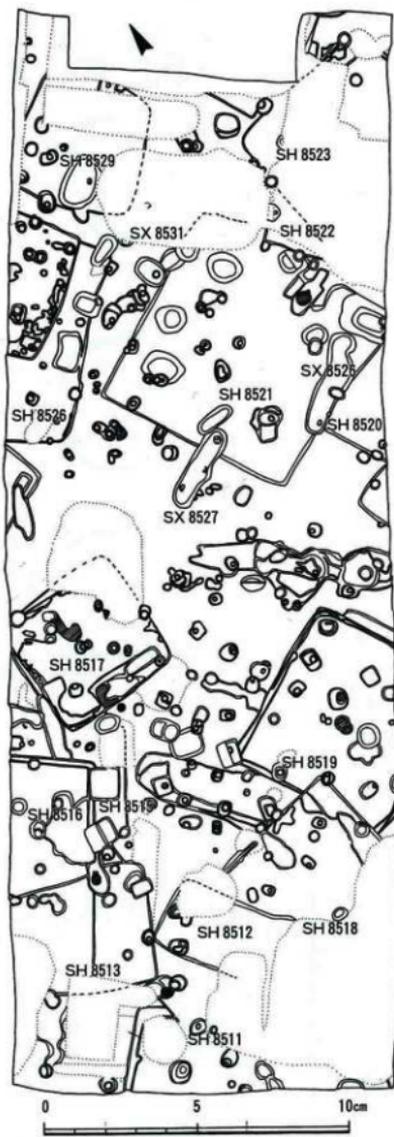
<4.5 SH 8501>



<SH 8503>



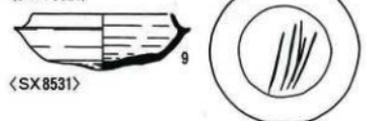
A地区遺構図・土器実測図



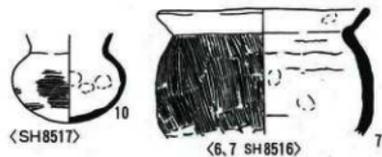
<3-5 SH 8515>



<8 SH 8521>



<SX 8531>

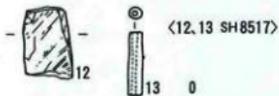


<SH 8517>

<6, 7 SH 8516>



<SX 8526>

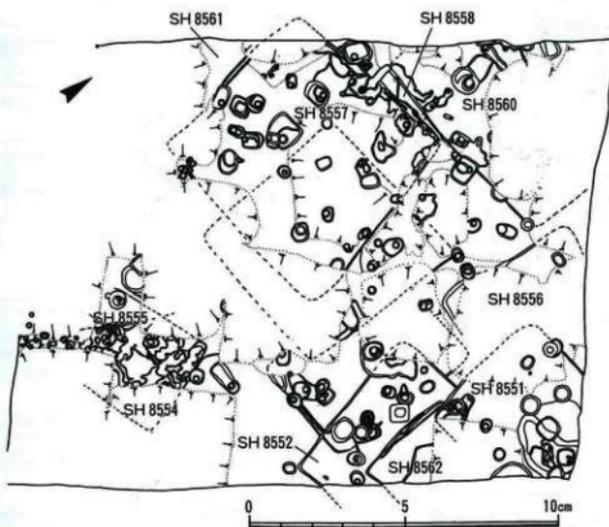


<12, 13 SH 8517>



(12, 13 滑石)

B地区遺構図・出土遺物実測図



(SH 8552 柱穴)



(3, 4 SH 8557)



(SH 8555)

0 5 10cm



(SH 8557)



(6~10 SH 8560)

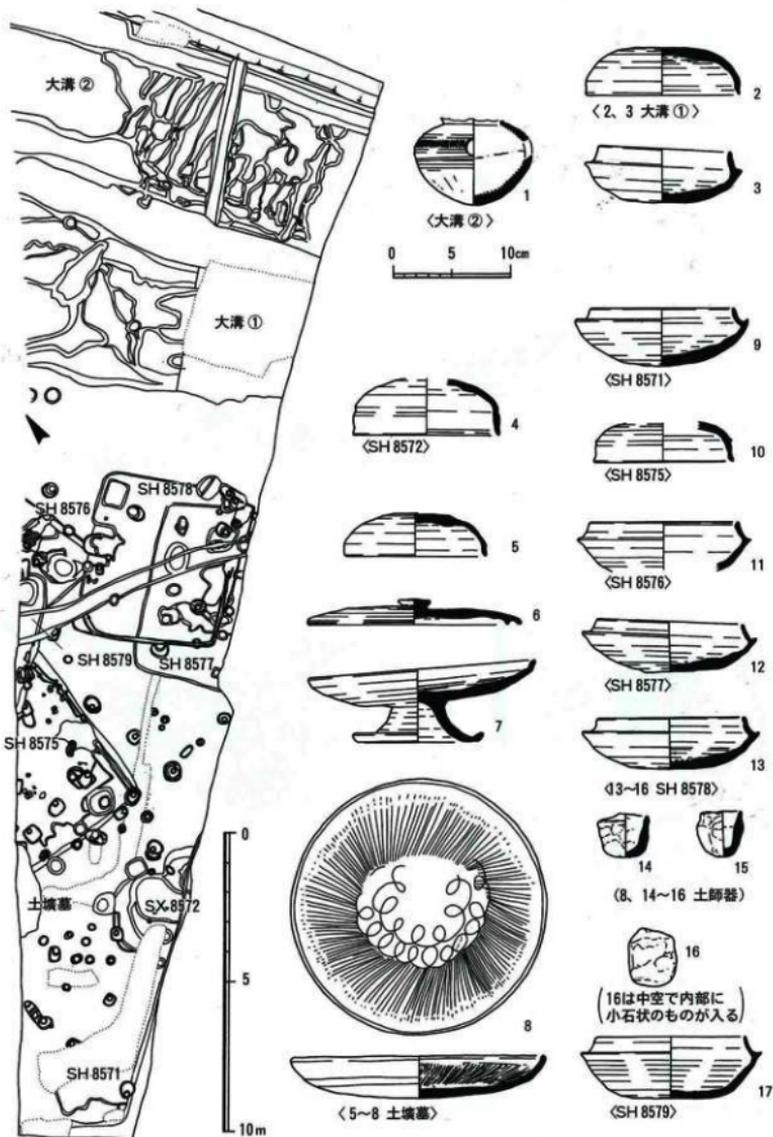


(5~10 滑石製品、未製品)

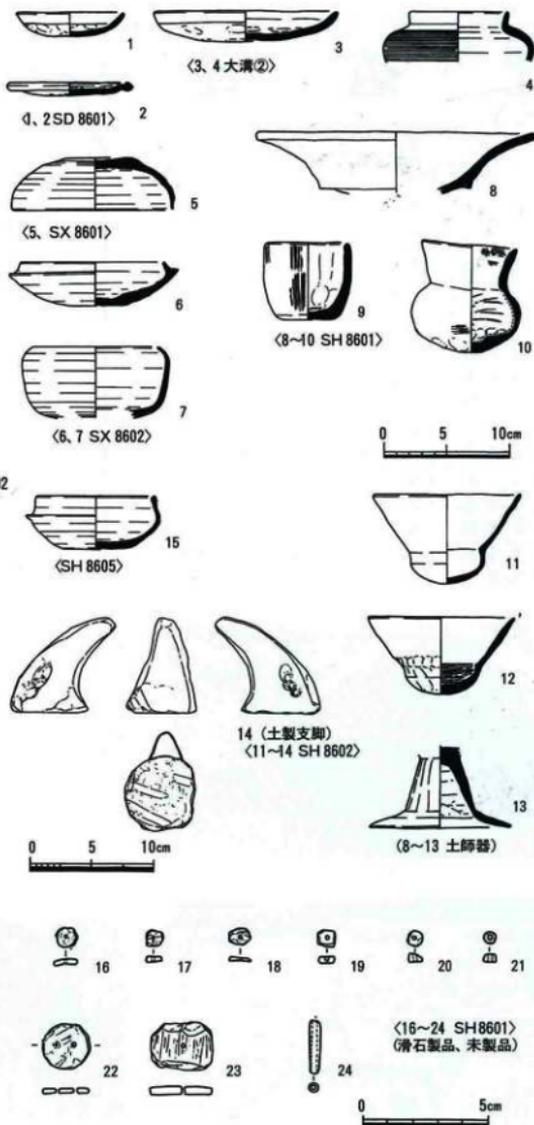
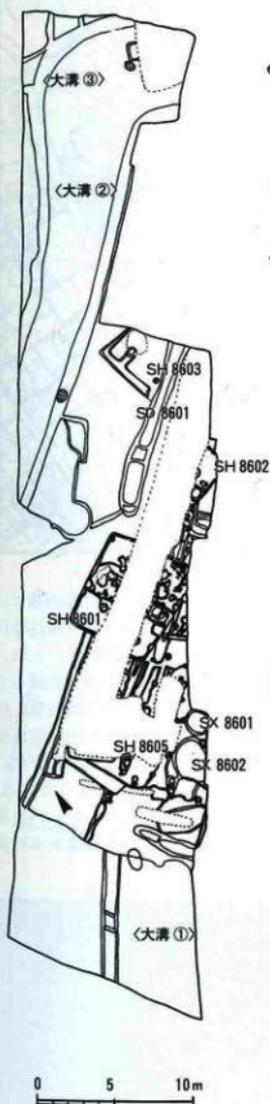


0 5cm

C地区遺構図・出土遺物実測図



D地区遺構図・出土遺物実測図



E地区遺構図・出土遺物実測図

2. 辻 遺 跡

(85R003-03)

ふりがな	つじいせき
所在地	栗東町辻字里ノ西448-1 北緯 35° 02' 10" 東経 136° 01' 02"
コード	321-003
調査期間	1985年11月1日～1986年12月13日
調査面積	2,883㎡
調査原因	バイパス代替地
調査担当	大崎隆志
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	古墳～平安時代
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物、溝、土壇
主な遺物	須恵器、土師器、滑石製品・未製品、和鏡
特記事項	文献5



調査地位置図

この調査区は85R003-01調査区の北半部西隣に位置する。調査では古墳時代前期後半から奈良時代にかけての竪穴住居65棟、掘立柱建物2棟、土壇、河道などが発見されている。住居には滑石原石や剥片が出土するものがあることから、滑石製玉作の作業場があったと考えられる。また初期須恵器や韓式系土器を出土するものがある。7世紀中頃には掘立柱建物による集落へと変化するようである。

平安時代後期には掘立柱建物がみられ、再び集落が形成されている。この時期の土壇墓から和鏡が出土した。



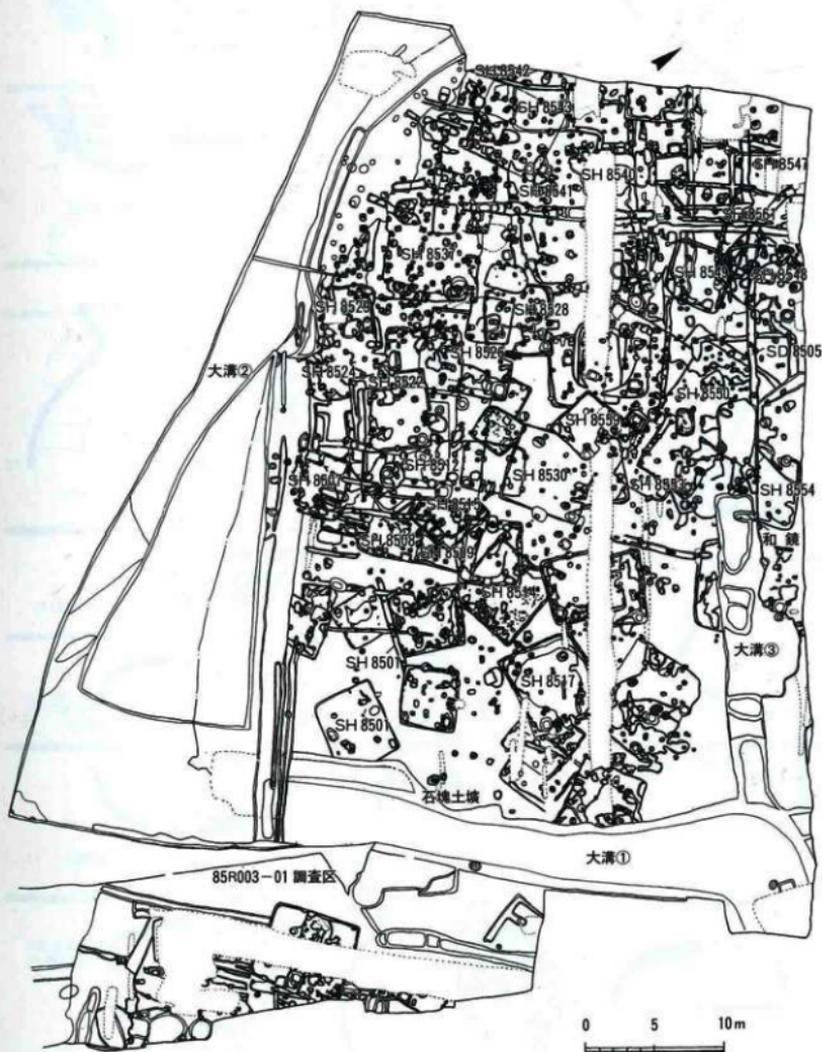
竪穴住居



調査地北東部



和鏡出土状況



調査地遺構図



1



3



6



2



4



7

(土師器)

〈SH 8507〉

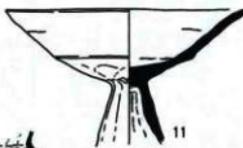


5

〈SH 8512〉



8



11



12



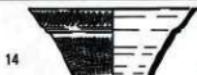
9



10

(8~12 土師器)

〈SH 8514〉



14

15

〈SH 8517〉



13

(土師器)

〈SH 8515〉



17

〈SH 8524〉



16

〈SH 8523〉



18



19



20

〈SH 8526〉

0 5 10cm



21



23

(土師器)

出土遺物実測図①



24



22

〈SH 8528〉



25

〈SH 8529〉



(SH 8530)



27



28



30

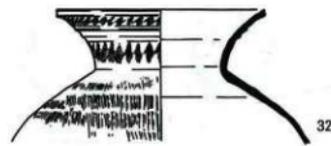


29

(SH 8537)



31



32



33

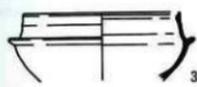


34

(須恵器)
(SH 8540)

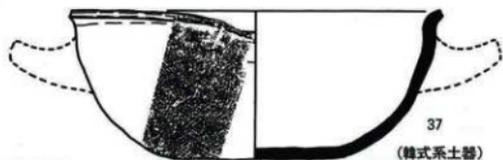


35



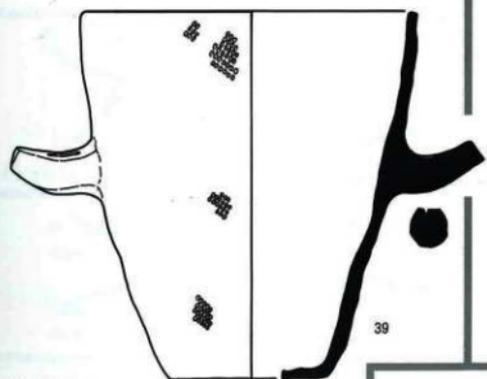
36

(SH 8542)



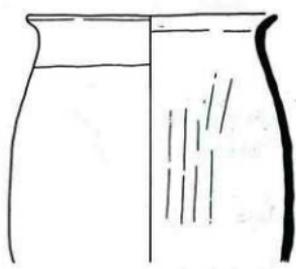
37

(韓式系土器)



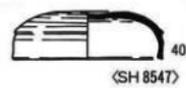
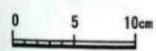
39

(韓式系土器)
(SH 8549)



38

(SH 8543)



40

(SH 8547)



42

(SH 8548)

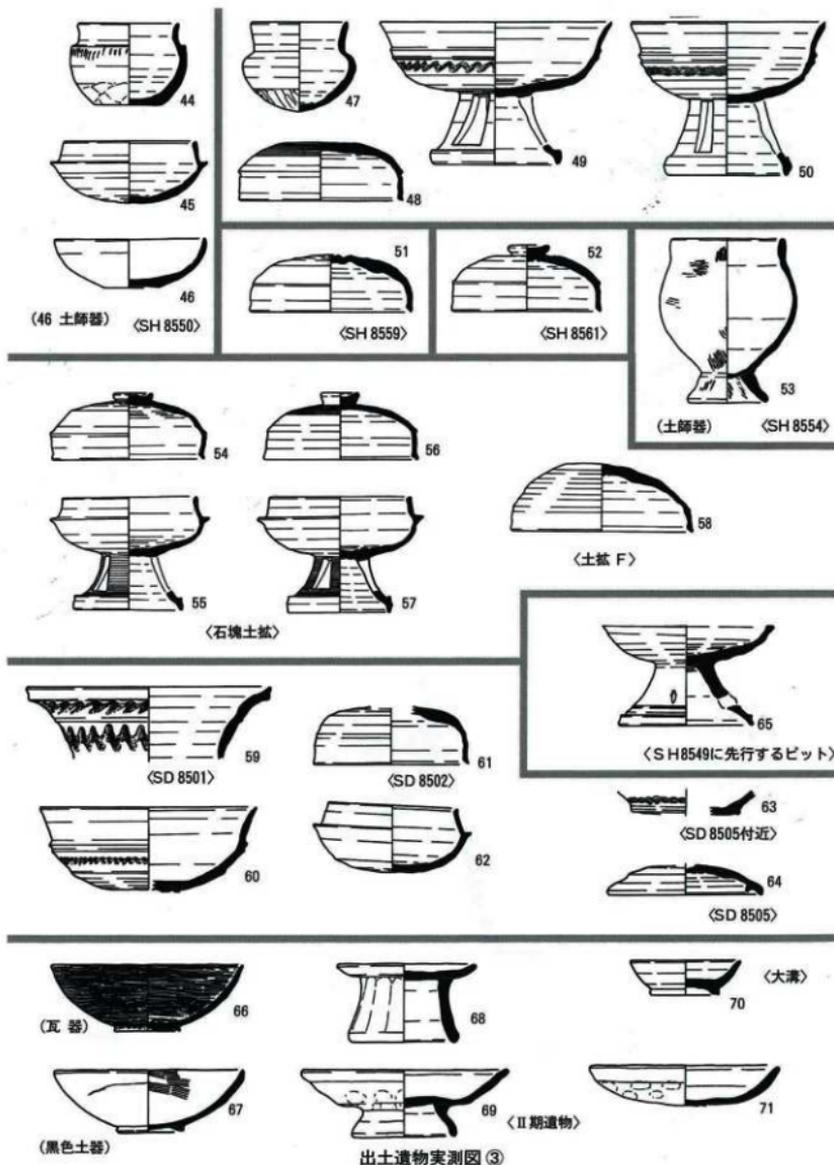


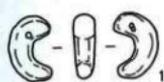
41



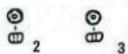
43

出土遺物実測図②

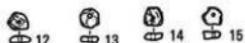
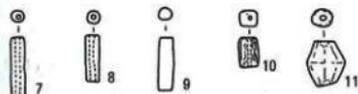
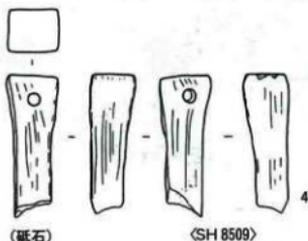
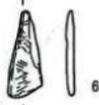
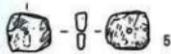




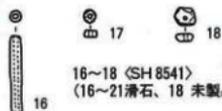
〈SH 8501〉
(1~3滑石)



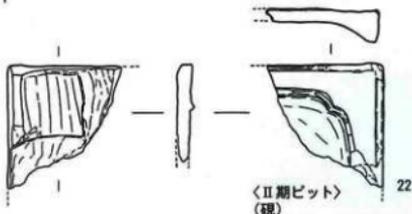
〈SH 8508〉 〈SH 8509〉
(2. 3 ガラス)



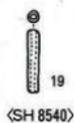
5~15 〈SH 8514〉 (5~15 滑石)



16~18 (SH 8541)
(16~21滑石、18 未製品)



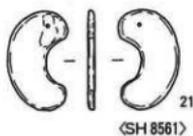
〈II期ビット〉
(硯)



〈SH 8540〉



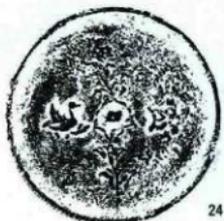
〈SH 8522〉



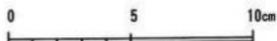
〈SH 8561〉



(石鏡)



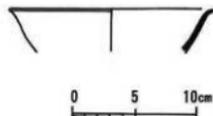
(和鏡) 〈土墳墓〉



3. 辻 遺 跡

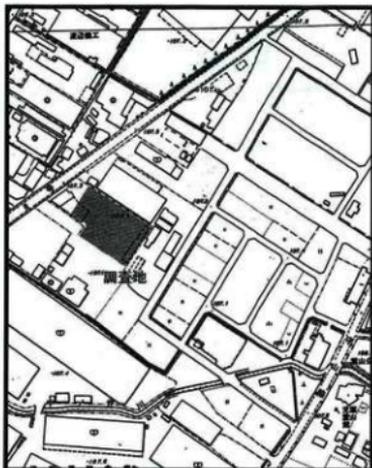
(85R003-02)

ふりがな	つじいせき
所在地	栗東町辻字北朝鐘603-1他 北緯 35° 02' 35" 東経 136° 00' 38"
コード	321-003
調査期間	1985年7月16日～8月4日
調査面積	4,244㎡
調査原因	造成工事
調査担当	清水好洋
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	古墳・平安時代
主な遺構	溝
主な遺物	灰釉陶器、土師器
特記事項	

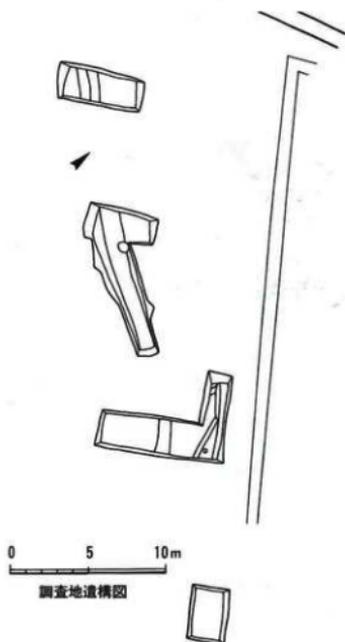


SD-2 出土灰釉陶器

この調査は、造成工事に伴う確認調査で、東西方向に延びる溝が発見されている。SD-2からは灰釉陶器が出土している。なお、遺構の掘り込みは実施されていない。



調査地位置図



4. 辻 遺 跡

(85R003-05)

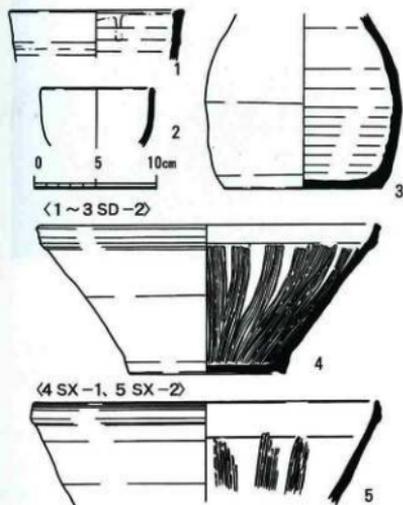
ふりがな	つじいせき
所在地	栗東町出庭365 北緯 35° 02' 20" 東経 136° 00' 48"
コード	321-003
調査期間	1986年2月18日～3月5日
調査面積	332㎡
調査原因	集合住宅建設
調査担当	近藤 広
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	中世・近世
主な遺構	土坑
主な遺物	土師器、近世陶磁器
特記事項	



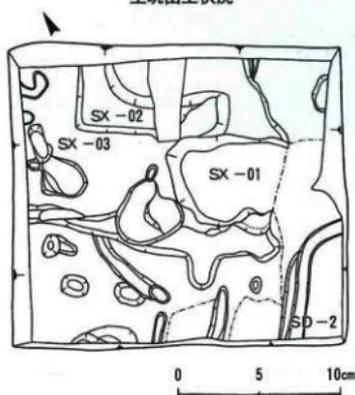
調査地位置図



土坑出土状況



出土陶器実測図



5. 辻 遺 跡

(85R003-04)

ふりがな	つじいせき
所在地	栗東町出庭字長機2059 北緯 35° 02' 31" 東経 136° 00' 47"
コード	321-003
調査期間	1985年10月16日～10月26日
調査面積	401㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	大崎隆志
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落・墓
主な時代	古墳時代
主な遺構	溝・ピット・土塋
主な遺物	須恵器、土師器、石製品
特記事項	



調査地位置図



調査地全景

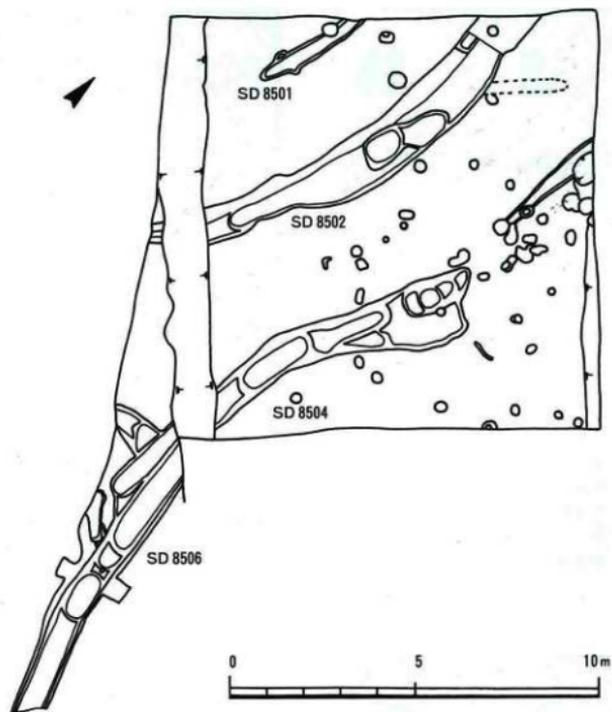


SD 8504

この調査区は野洲川左岸にひろがる辻遺跡の中でも、東端部の出庭地区にあたる。

調査では溝・ピットが検出された。溝のうちSD8502は、幅1.5～0.4m、深さ0.3～0.1mを測る弧状の溝で、須恵器・土師器をはじめ滑石製白玉等が出土している。SD8502が調査区外においても同じように弧状に延びるとすれば、径約24mの円墳となる可能性がある。

SD8404、8506は若干弧状になる溝で、遺構の内部に楕円形の掘り込みが見られる。SD8404上層のテラス部分、SD8506北端部・南端部および中央部の掘り込み内から、土師器・須恵器がまとめて出土している。土器群には滑石製品をとまなうものもある。これらの連続する楕円形の掘り込みは土塋墓の可能性はある。



調査地遺構図



出土遺物実測図

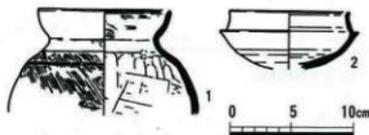
6. 辻 遺 跡

(85R003-06)

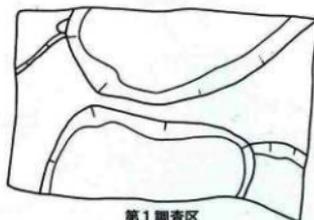
ふりがな	つじいせき
所在地	栗東町出庭字上舟子1913-4 北緯 35° 02' 35" 東経 136° 00' 35"
コード	321-003
調査期間	1985年3月17日～3月28日
調査面積	90㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	松村 浩
調査機関	栗東町教育委員会
種 別	集落
主な時代	古墳時代
主な遺構	竪穴住居、溝
主な遺物	須恵器、土師器
特記事項	



調査地位置図



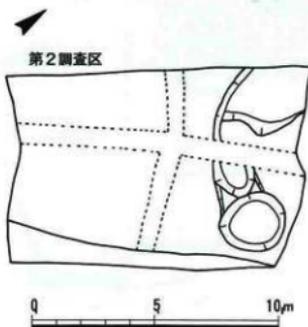
出土遺物実測図



第1調査区



第1調査区



調査地遺構図

7. 蜂屋遺跡

(85R022-01)

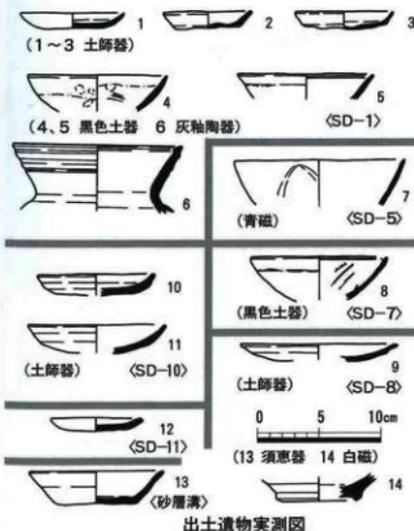
ふりがな	はちやいせき
所在地	栗東町蜂屋字墓原52-2
	北緯 35° 01' 49"
	東経 136° 00' 08"
コード	321-022
調査期間	1985年12月16日～1986年1月16日
調査面積	180㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	近藤 広
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	中世
主な遺構	溝、土壇
主な遺物	土師器、黒色土器、青磁
特記事項	



調査地位置図



調査地全景



8. 林 遺 跡

(85R009-01)

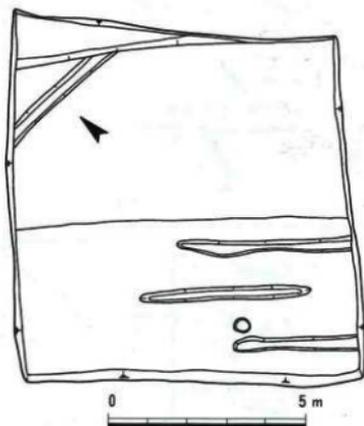
ふりがな	はやしいせき
所在地	栗東町林500 北緯 35° 01' 36" 東経 136° 01' 39"
コード	321-009
調査期間	1986年3月14日～3月20日
調査面積	48㎡
調査原因	農作業用家屋建設
調査担当	清水好洋
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	不明
主な遺構	溝
主な遺物	なし
特記事項	



調査地位置図



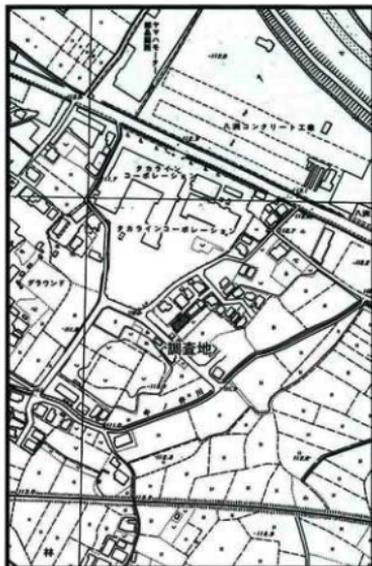
江戸時代に創建された新善光寺の東に隣接する調査区である。耕作痕および東西方向の溝が検出された。顕著な遺物は出土していない。



9. 林 遺 跡

(85R009-02)

ふりがな	はやしいせき
所在地	栗東町林560-9 北緯 35° 01' 01" 東経 136° 01' 08"
コード	321-009
調査期間	1985年
調査面積	
調査原因	個人用住宅
調査担当	近藤 広
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落・墓
主な時代	古墳時代
主な遺構	なし
主な遺物	なし
特記事項	



調査地位置図



調査地全景

この調査区からは、顕著な遺構・遺物は出土していない。

調査地の南西には、畑地として利用されている若干の高まりがあり、古墳と推定されている（大塚古墳）。高まりの南側では1982年度の調査で6世紀代の溝が検出され、須恵器壺等が出土している。林遺跡内にはほかに車塚・イク塚など、詳細は不明であるものの古墳の点在がみられるほかガラス玉等も出土している。周辺地域の調査にはなお注意が必要である。

10. 手原遺跡

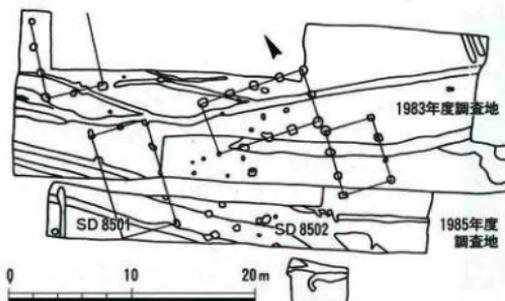
(85R025-01)

ふりがな	てはらいせき
所在地	栗東町手原字上永正172-1他 北緯 35° 01' 33" 東経 136° 00' 07"
コード	321-025
調査期間	1985年6月26日～7月6日
調査面積	250㎡
調査原因	工場建設
調査担当	大崎隆志
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落・寺院・官衙
主な時代	奈良・平安時代
主な遺構	掘立柱建物、溝
主な遺物	須恵器、土師器、青磁、緑釉陶器
特記事項	文献5



調査地位置図

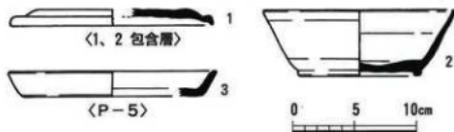
1983年度に奈良時代の掘立柱建物数棟が発見された調査区の南側に隣接している。1985年度の調査では北側の調査で見つかった掘立柱建物の一部が検出され、その規模が明らかとなった。



調査地遺構図



調査地全景

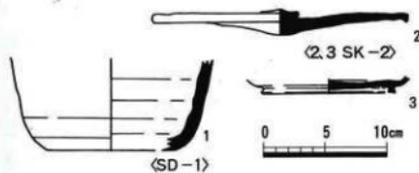


出土遺物実測図 (須恵器)

11. 手原遺跡

(85R025-03)

ふりがな	てはらいせき
所在地	栗東町手原字竹ノ花137-1 北緯 35° 01' 27" 東経 136° 00' 17"
コード	321-025
調査期間	1985年3月25日～4月25日
調査面積	140㎡
調査原因	共同住宅建設
調査担当	清水好洋
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落・寺院・官衙
主な時代	奈良・平安時代
主な遺構	掘立柱建物、溝
主な遺物	須恵器、土師器、緑釉陶器、瓦、近世陶磁器
特記事項	

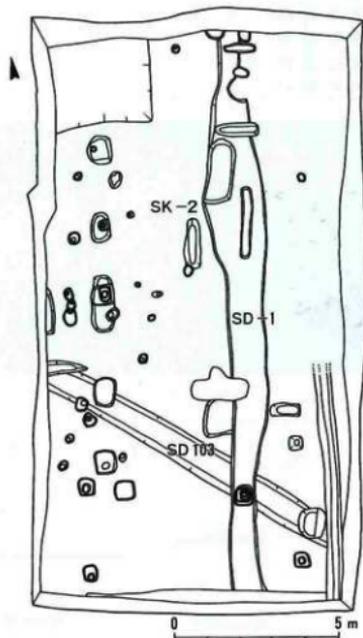


調査地南半部（北東より）

手原遺跡が立地する正南北方向の地割りに沿った溝・掘立柱建物と、これに先行する異方位の溝が発見された。



調査地位置図



調査地遺構図

12. 手原遺跡

(85R025-02)

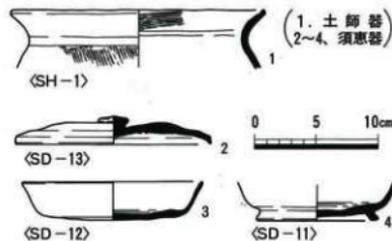
ふりがな	てはらいせき
所在地	栗東町大橋字六反田630 北緯 35° 01' 30" 東経 136° 00' 30"
コード	321-025
調査期間	1985年8月5日～10月12日
調査面積	1131㎡
調査原因	住宅建設
調査担当	清水好洋
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	古墳・奈良・平安時代
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物、溝、井戸
主な遺物	須恵器、土師器
特記事項	



調査地位位置図



掘立柱建物

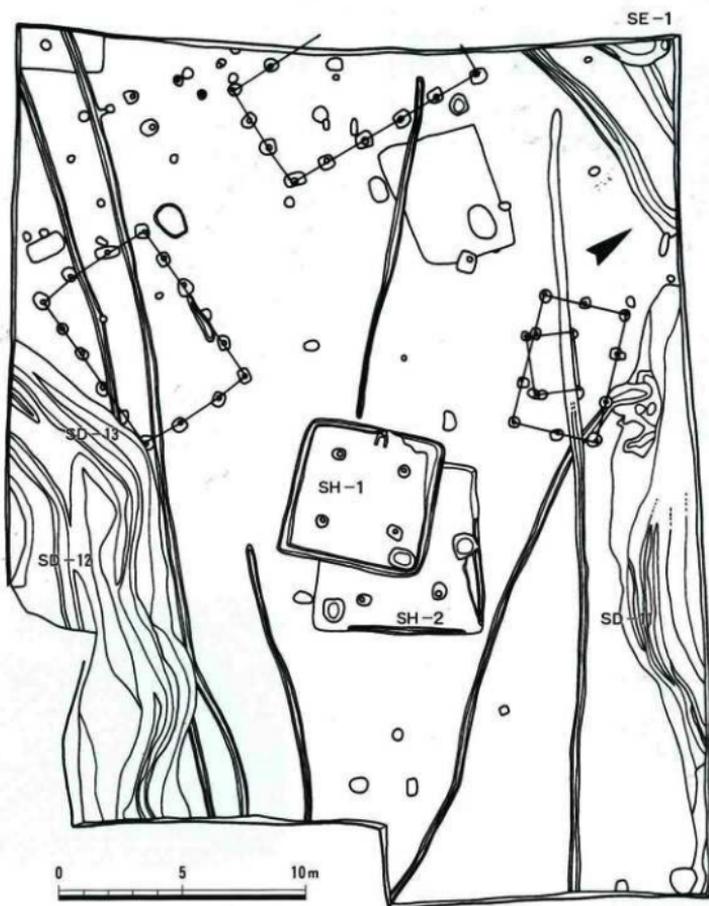


出土遺物実測図

この調査区は手原遺跡の北東端部にあたり、高野遺跡に隣接する地点に位置する。

調査では古墳時代後期および奈良～平安時代の遺構・遺物が出土した。古墳時代後期の遺構には、東から西へ自然地形に沿って流れる2条の溝に挟まれ検出された、2棟の竪穴住居がある。2棟は切り合っており、後出するSH-1にはカマドが北西辺に、貯蔵穴が東隅にみられる。竪穴住居の北側には方位が共通する掘立柱建物2棟があり、同時期のものと考えられる。

奈良時代末から平安時代初頃には調査区の西西部で掘立柱建物2棟および井戸から構成される集落がみられる。掘立柱建物はいずれも5×3間で、手原遺跡中心部における棟方位と共通する。古墳時代に溝であったところは引き続き溝としての機能を持っていたと考えられる。



調査地遺構図

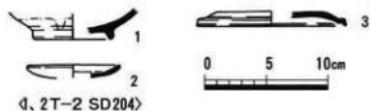
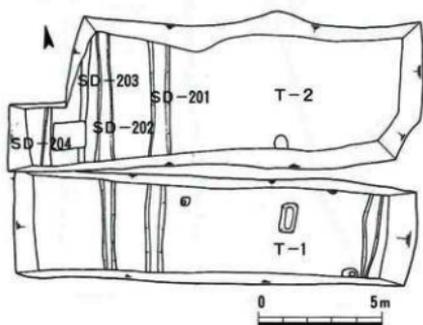
13. 手原遺跡

(85R025-04)

ふりがな	てはらいせき
所在地	栗東町手原字西天神804
	北緯 35° 01' 30"
	東経 136° 00' 08"
コード	321-025
調査期間	1986年2月3日～3月27日(中断あり)
調査面積	200㎡
調査原因	造成工事
調査担当	清水好洋
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落・寺院・官衙
主な時代	奈良時代～中世
主な遺構	溝、ビット、土坑
主な遺物	瓦
特記事項	



調査地位置図



4, 2T-2 SD204)

出土遺物実測図



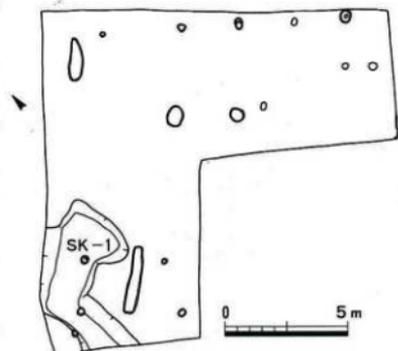
T-1 全景

手原遺跡は総柱建物群が企画性をもって配置されていることから官衙的な性格が検討されている遺跡である。この調査区は総柱建物群が検出される地区の北側にあたるが、4条の溝とまばらなビットが発見されるにとどまった。顕著な遺物は出土していない。

14. 中 沢 遺 跡

(85R034-01)

ふりがな	なかざわいせき
所在地	栗東町中沢字遺立135 北緯 35° 01' 33" 東経 135° 58' 39"
コード	321-034
調査期間	1985年2月13日～3月8日
調査面積	524㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	松村 浩
調査機関	栗東町教育委員会
種 別	集落
主な時代	古墳時代
主な遺構	溝、ピット
主な遺物	土師器
特記事項	

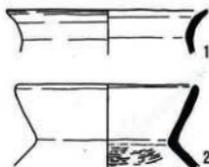


調査地遺構図

中沢遺跡の東端部分での調査である。調査区の東約100mの地点には江戸時代に刀剣が出土したとされる小槻古墳群がある。発掘調査では、溝・土坑・ピットが出土し、土坑（SK-1）からは古墳時代前半の土器が出土している。



調査地位置図



0 5 10m

SK-1 出土遺物実測図



調査区西半部

15. 靈仙寺遺跡

(85R033-01)

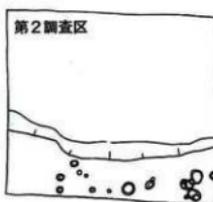
ふりがな	りょうせんじいせき
所在地	栗東町靈仙寺字新改245-1、246 北緯 35° 02' 16" 東経 135° 58' 03"
コード	321-033
調査期間	1985年6月3日～10月26日
調査面積	1,578㎡
調査原因	造成工事
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落、墓
主な時代	縄文・弥生時代
主な遺構	沼沢地、土壇
主な遺物	縄文土器、弥生土器、石器
特記事項	文献3.4.5



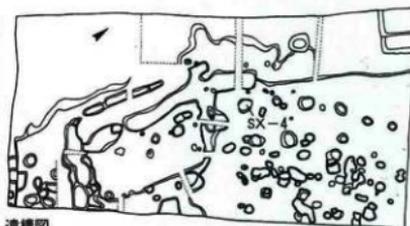
調査地位置図



第2調査区全景

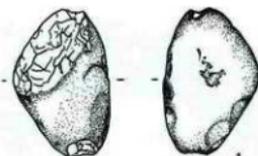


0 5 10 15m

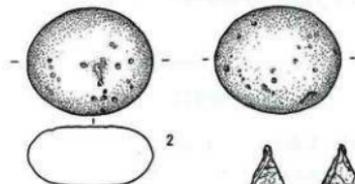


遺構図

第1調査区



▲ 3



▲ 4

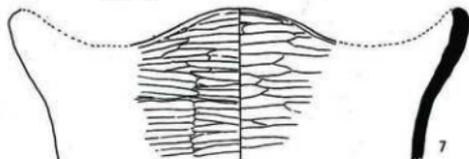


出土遺物（石器）実測図



(SX-4)

6



7

<7~15、写真 沼状遺構>



8



9

0 5 10cm



10



11



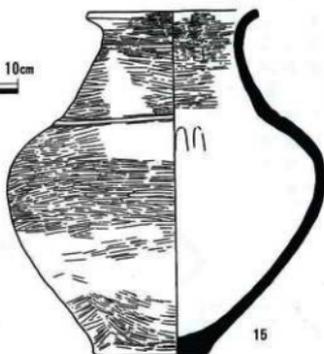
12



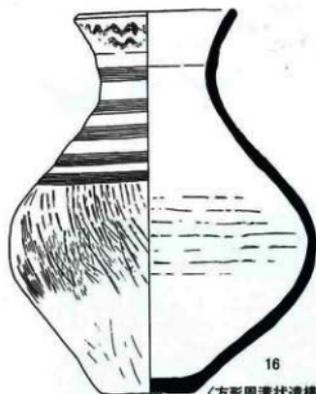
13



14



15



16

<方形周溝状遺構>

出土遺物 (土器) 実測図

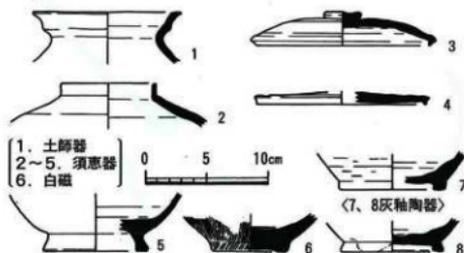
16. 椿山遺跡

(85R039-01)

ふりがな	つばきやまいせき
所在地	栗東町安養寺6丁目7-29 北緯 35° 01' 00" 東経 135° 59' 56"
コード	321-039
調査期間	1985年7月15日～8月25日
調査面積	509㎡
調査原因	幼稚園建設
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落、墳墓
主な時代	古墳～平安時代
主な遺構	溝、ピット
主な遺物	須恵器、土師器
特記事項	



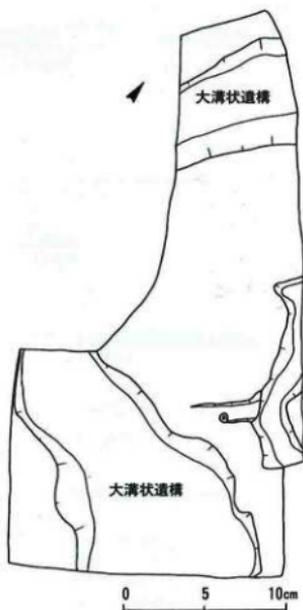
調査地位置図



出土遺物実測図



椿山古墳の南西側での調査である。古墳時代前期から平安時代にいたる遺物が出土している。



調査地遺構

17. 椿山遺跡

(85R039-02)

ふりがな	つばきやまいせき
所在地	栗東町安養寺地先 北緯 35° 01' 03" 東経 136° 00' 00"
コード	321-039
調査期間	1985年8月26日～9月3日
調査面積	155㎡
調査原因	下水道工事
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落、墳墓
主な時代	古墳時代
主な遺構	落ち込み状遺構
主な遺物	円筒埴輪
特記事項	



調査地位置図



調査トレンチ

椿山古墳は5世紀中頃の帆立貝形古墳で、全長は99mとこの形の古墳としては県下最大のものである。本調査トレンチは周辺地形によって推定される周濠外側ライン上に設定された。調査では周濠の一部とみられる落ち込み状の遺構が発見されており、円筒埴輪の小片が出土している。

18. 中村遺跡

(85R057-01)

ふりがな	なかむらいせき
所在地	栗東町御園地先 北緯 35° 00' 12" 東経 136° 01' 33"
コード	321-057
調査期間	1985年12月10日～1986年1月30日
調査面積	1,200㎡
調査原因	区画整理事業
調査担当	清水好洋
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	平安時代
主な遺構	土塼
主な遺物	須恵器、瓦
特記事項	

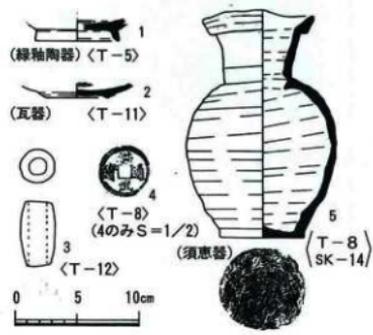


調査地位置図



トレンチ配置図

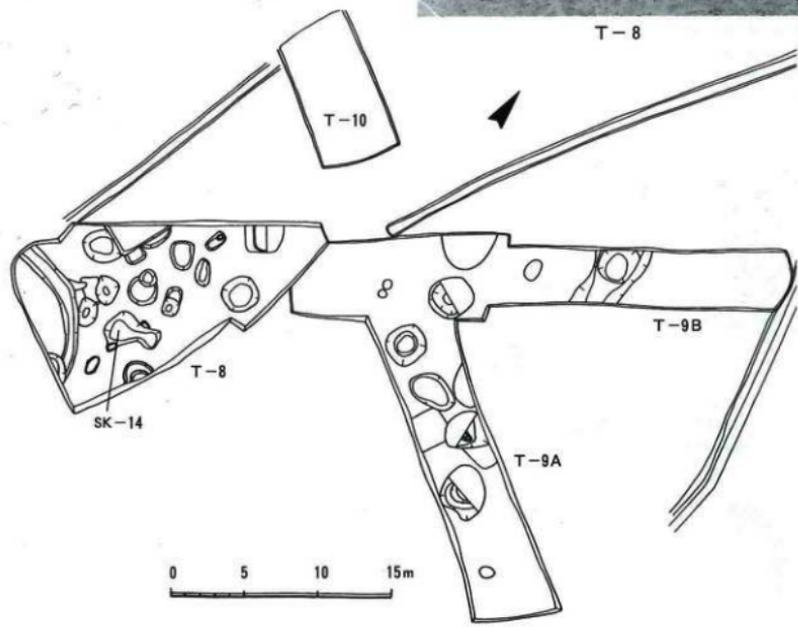
中村遺跡の東端に位置する。1982、83年にはこの調査区の南側で発掘調査が実施され、平安～鎌倉時代の掘立柱建物が多数出土している。1985年度の調査ではT-8、9トレンチで土壌がまとまって検出された。このうちSK-4からは須恵器壺が1点出土した。調査地周辺は南側にひろがる集落群の墓域になっているものと考えられる。



出土遺物実測図



T-8

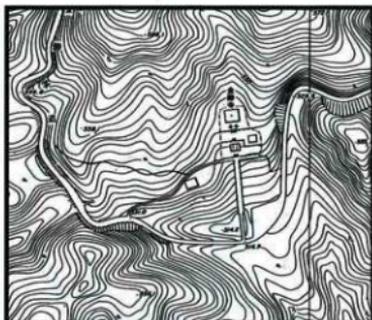


T-8～10 遺構図

19. 金勝寺遺跡

(85R071-01)

ふりがな	こんしょうじいせき
所在地	栗東町荒張1394 北緯 34° 57' 09" 東経 136° 02' 14"
コード	321-071
調査期間	1985年7月19日～9月1日
調査面積	450㎡
調査原因	堂舎建築
調査担当	清水好洋
調査機関	栗東町教育委員会
種別	寺院
主な時代	平安時代
主な遺構	礎石建物
主な遺物	土師器、灰陶軸器
特記事項	文献5

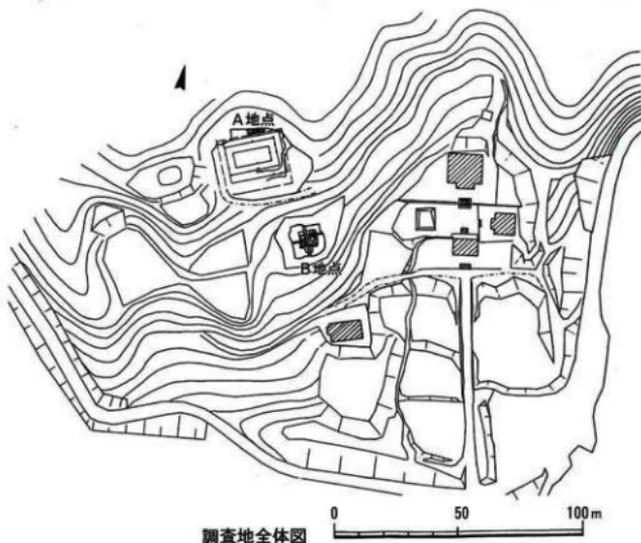


調査地位置図

金勝寺は弘仁年間(810～824)に興福寺の僧願安によって建立された寺院で、天長10(833)年には定額寺になり、湖南地方に法相宗系の一大仏教圏を形成した。

本調査区のA地点では南北23m、東西26mの基壇が発見され、残存する礎石から8×6間の建物が確認された。B地点では南北8m、東西9mで南側に張りだしをもつ基壇が検出され、3×3

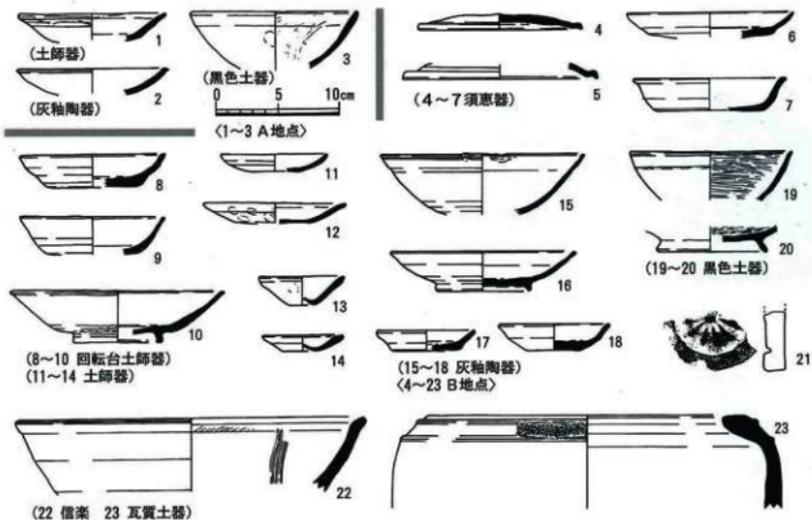
間の建物があったと想定されている。基壇上面やB地点の滑落土から9世紀後半から10世紀初頭の遺物が出土している。



調査地全体図



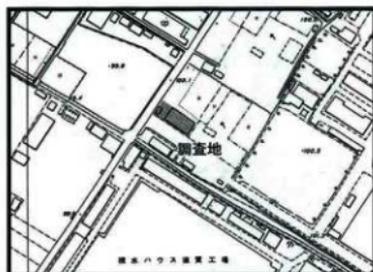
B地点全景



出土遺物実測図

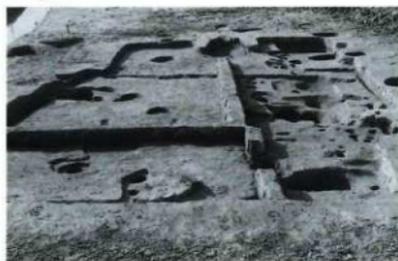
20. 野尻遺跡

(85R088-01)



調査地位置図

ふりがな	のじりいせき
所在地	栗東町野尻字馬拍子245-3 北緯 35° 01' 47" 東経 135° 59' 26"
コード	321-088
調査期間	1985年4月5日～4月20日
調査面積	800㎡
調査原因	造成工事
調査担当	大崎隆志
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	古墳時代
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物、溝
主な遺物	須恵器、土師器、砥石
特記事項	



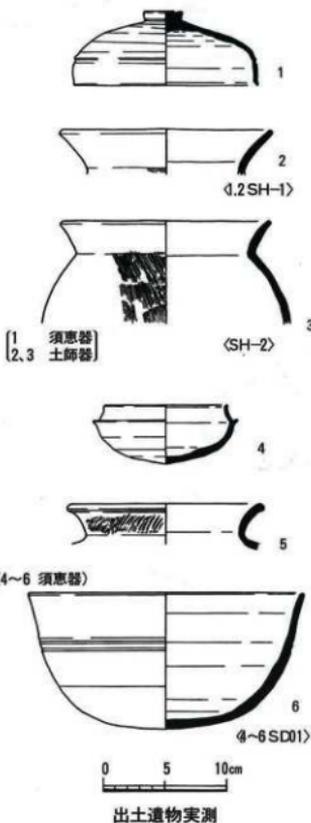
竪穴住居

竪穴住居3棟、大溝2条、掘立柱建物等が出土した。

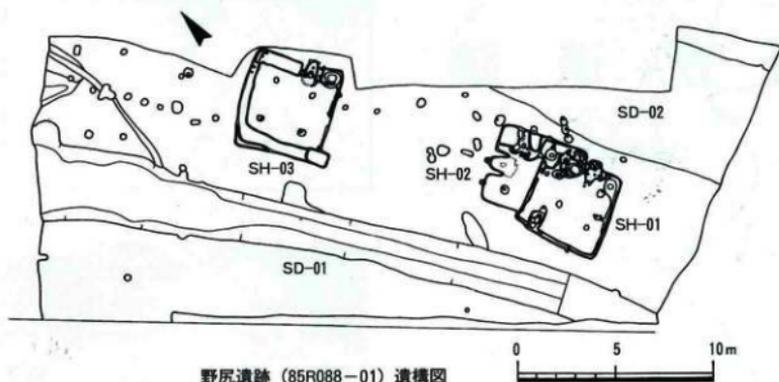
竪穴住居はいずれも造りつけカマドを持つ古墳時代後期のものである。

住居城の南西に幅1.2mの溝が、北東には幅3.0mの溝が見られる。

掘立柱建物は平安時代後期のものである。



出土遺物実測



野尻遺跡 (85R088-01) 遺構図

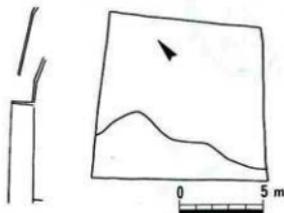
21. 野尻遺跡

(85R088-02)



調査地位置図

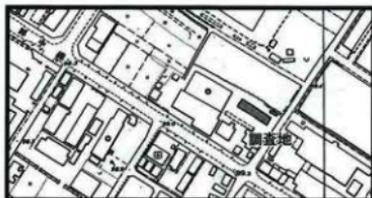
ふりがな	のじりいせき
所在地	栗東町野尻519-3 北緯 35° 02' 10" 東経 135° 59' 28"
コード	321-088
調査期間	1985年5月13日～5月27日
調査面積	90㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	清水好洋
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	不明
主な遺構	流路
主な遺物	なし
特記事項	



調査地全景▶

22. 野尻遺跡

(85R088-02)



調査地位置図



遺構全景

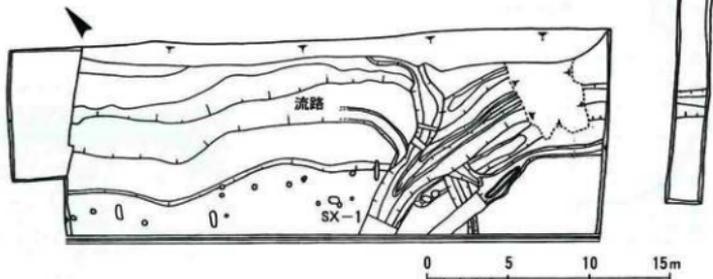


大溝断面

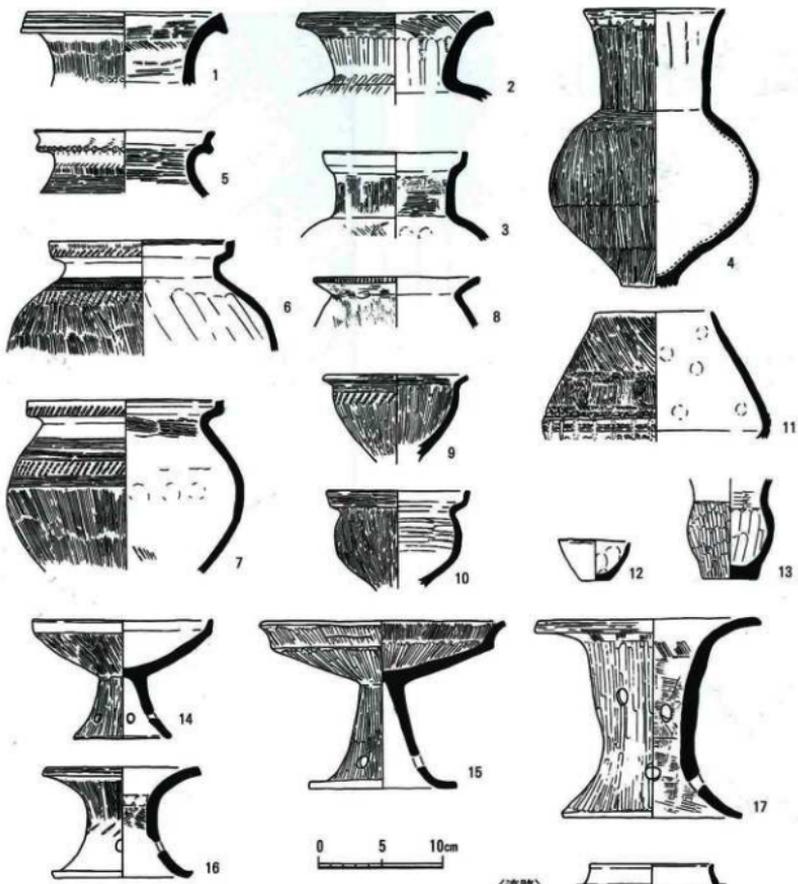
ふりがな	のじりいせき
所在地	栗東町下鉤字塚越673-1他 北緯 35° 01' 40" 東経 135° 59' 18"
コード	321-088
調査期間	1985年3月23日～5月5日
調査面積	250㎡
調査原因	造成工事
調査担当	清水好洋
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	弥生時代
主な遺構	溝・ピット
主な遺物	弥生土器
特記事項	文献5

この調査区では幅10m以上、深さ2mで南東-北西方向に流れる流路が確認された。流路からは弥生時代後期中葉を中心とする時期の土器が多量に出土した。

さらに流路埋没後には、幅2mで深さ1.2mの弧を描く溝が掘削されている。この溝の断面形態はV字を呈する。



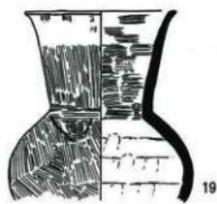
遺構図



〈流路〉



〈18. 流路上層〉



出土土器実測図



〈SX-1〉

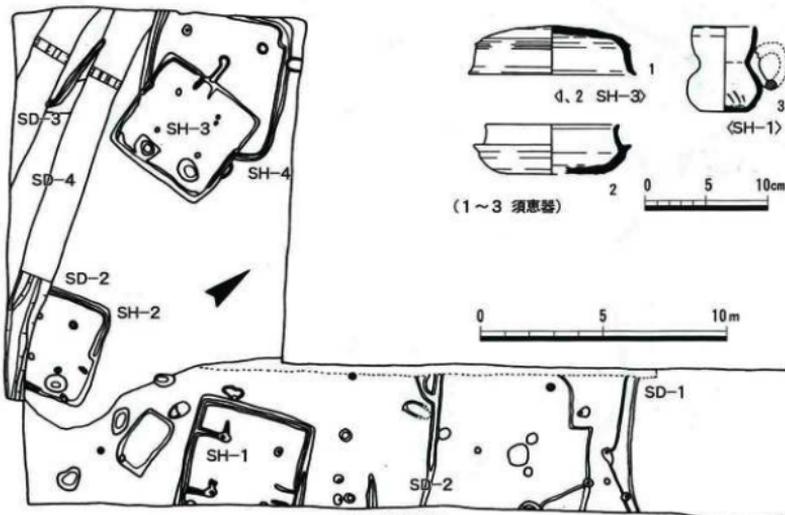
23. 高野遺跡

(85R092-01)

ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町高野字ミハカ193-1 北緯 35° 01' 40" 東経 136° 01' 03"
コード	321-092
調査期間	1985年7月15日～9月28日
調査面積	1,376㎡
調査原因	事務所、倉庫建設
調査担当	平井寿一
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	古墳時代
主な遺構	竪穴住居、溝
主な遺物	須恵器、土師器、土製勾玉
特記事項	



調査地位置図

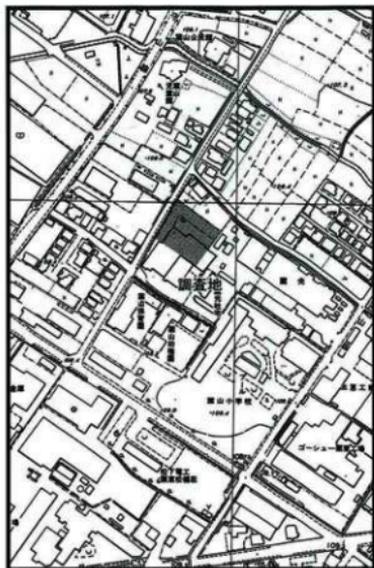


調査地遺構図

24. 高野遺跡

(85R092-02)

ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町高野字サルガウ546-1他 北緯 35° 01' 52" 東経 136° 00' 58"
コード	321-092
調査期間	1985年7月20日～11月30日
調査面積	2,100㎡
調査原因	工場建設
調査担当	近藤 広
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落、墳墓
主な時代	古墳時代・中世
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物、溝、周溝墓
主な遺物	須恵器、土師器、黒色土器、滑石製勾玉
特記事項	文献 2、5



調査地位位置図



SX-2, SX-1

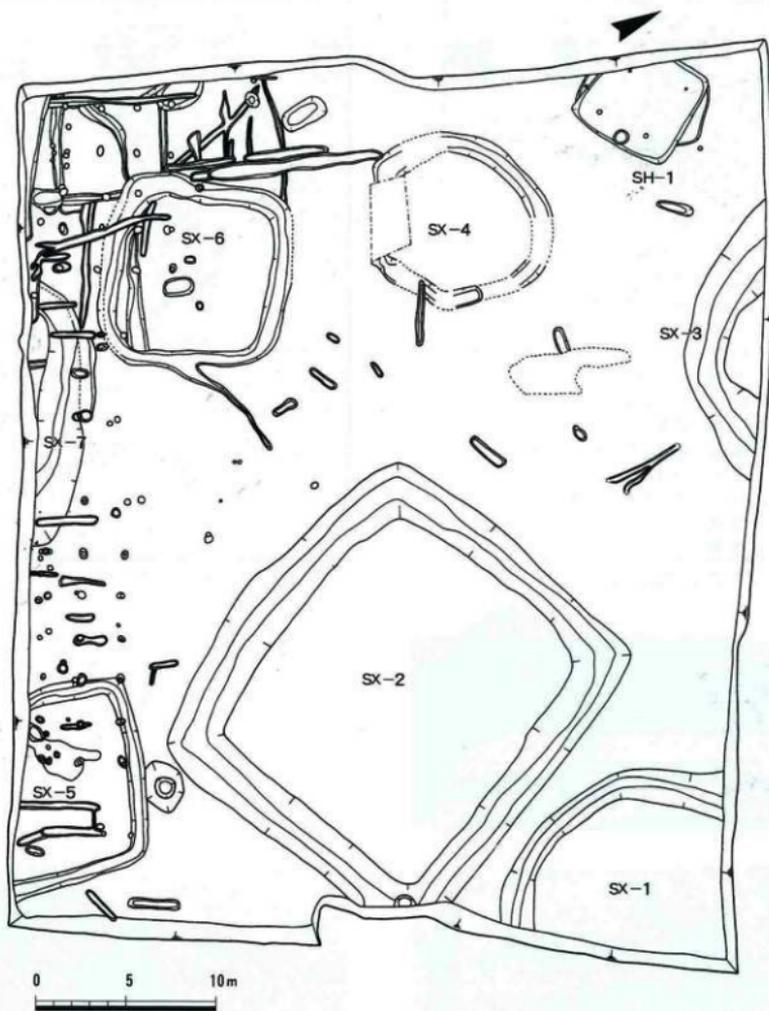
この調査区では、7基の古墳（周溝状遺構）が検出された。このうち最大のSX-2は15×16mを測り、周溝からは多量の土器のほか滑石製勾玉・ガラス小玉が出土している。



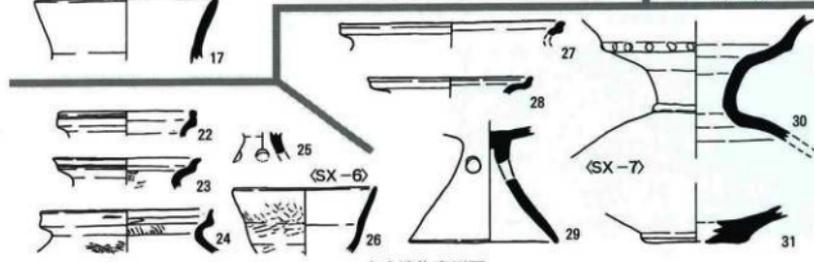
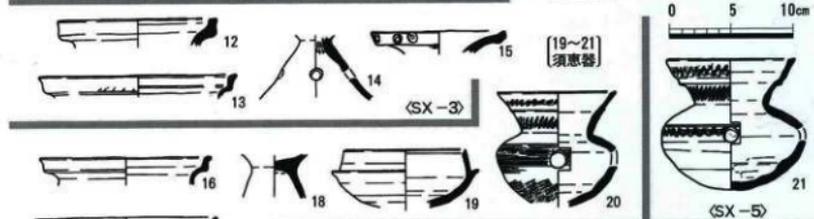
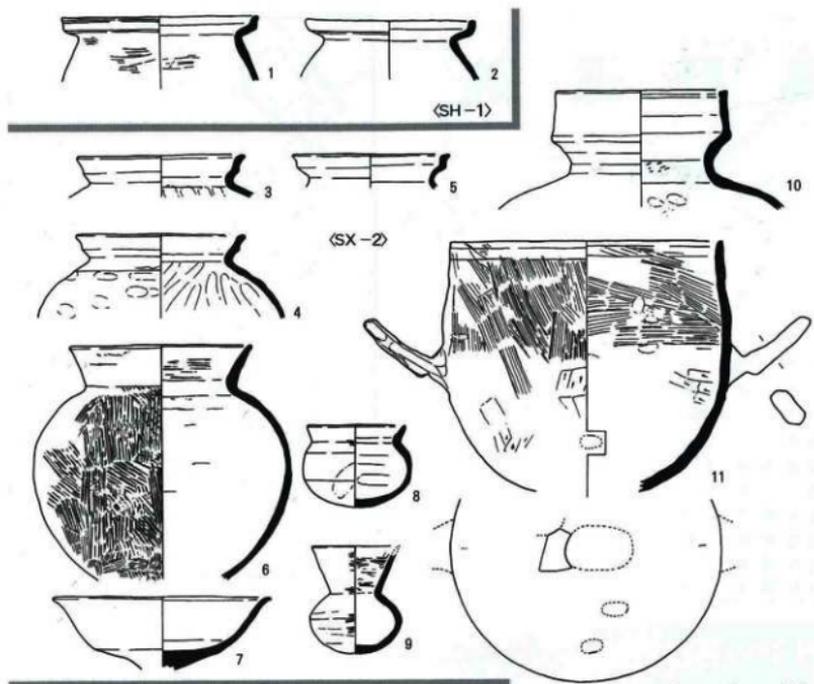
掘立柱建物、SX-6



SX-5 土器出土状況



調査地遺構図



出土遺物実測図

25. 高野遺跡

(85R092-04)

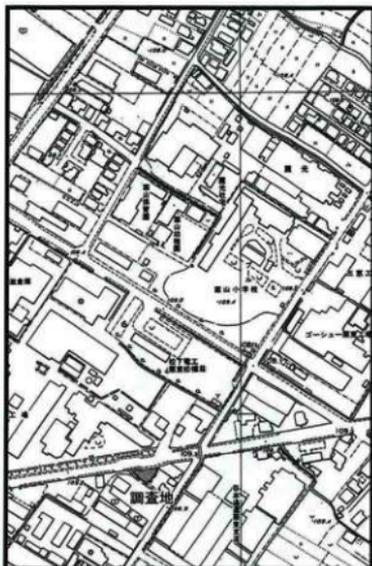
ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町六地藏1075-1ほか 北緯 35° 01' 39" 東経 136° 00' 55"
コード	321-092
調査期間	1985年7月20日～12月14日、1986年5月19日～5月27日
調査面積	150㎡
調査原因	造成工事
調査担当	近藤 広
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	墳墓
主な時代	古墳時代
主な遺構	周溝墓、土壇
主な遺物	土師器、埴輪
特記事項	文献4、5



調査地西半分



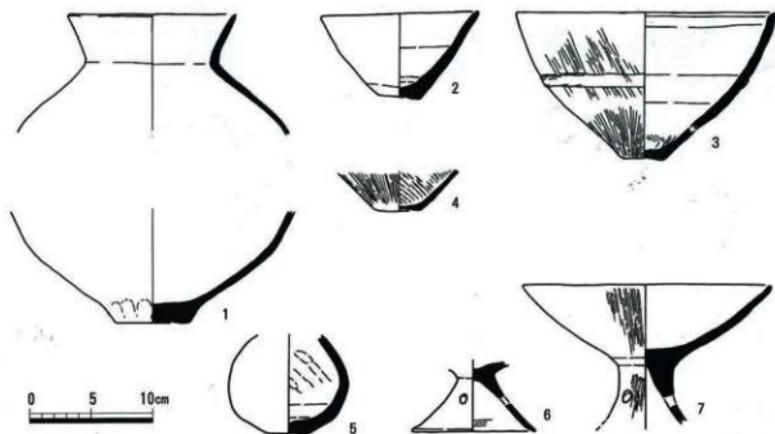
埴輪出土状況



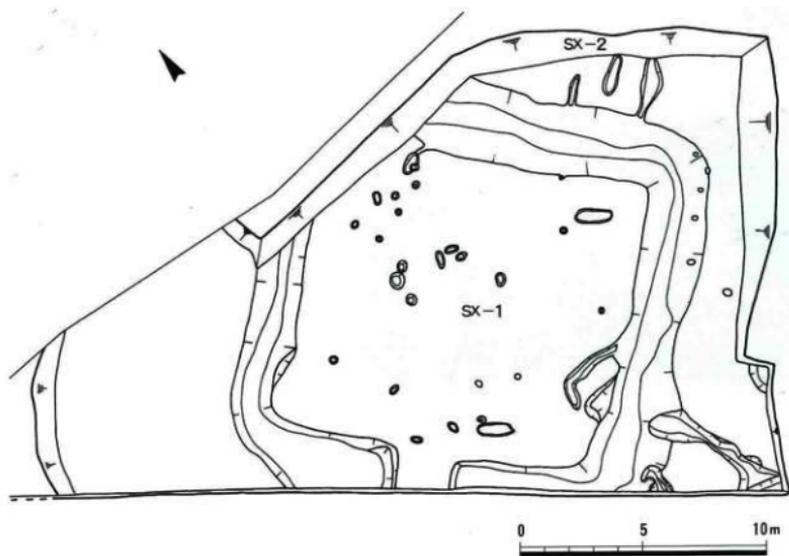
調査地位置図

この調査区では2基の墓が検出されている。SX-1は前方後方形周溝墓の可能性が考えられている周溝墓である。後方は1辺約15m、溝幅は2.1～3.3mを測る。西片中央部に幅約2mの陸橋部があり、その部分で溝幅が外側にふくらみをもっていることから前方部と推察されている。しかしその全形は調査区外に延びるため、明らかではない。SX-1は高野遺跡で最も古い時期の墓である。

SX-1の東側にある土壇墓(SX-2)は2.8m×0.6mを測り、埴輪が出土している。



出土土器実測図



調査地遺構図

26. 高野遺跡

(85R092-05)

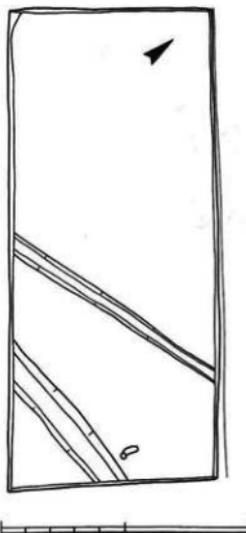
ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町高野字下戸別当571-1 北緯 35° 01' 54" 東経 136° 00' 57"
コード	321-092
調査期間	1986年1月13日～2月5日
調査面積	330㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	清水好洋
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	
主な遺構	溝
主な遺物	なし
特記事項	



調査地位置図



調査地全景



調査地遺構図

27. 高野遺跡

(85R092-06)

ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町六地藏字鍋田110 北緯 35° 01' 30" 東経 136° 00' 48"
コード	321-092
調査期間	1985年12月16日～12月26日
調査面積	1,077㎡
調査原因	造成工事
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	不明
主な遺構	ピット
主な遺物	なし
特記事項	試掘調査

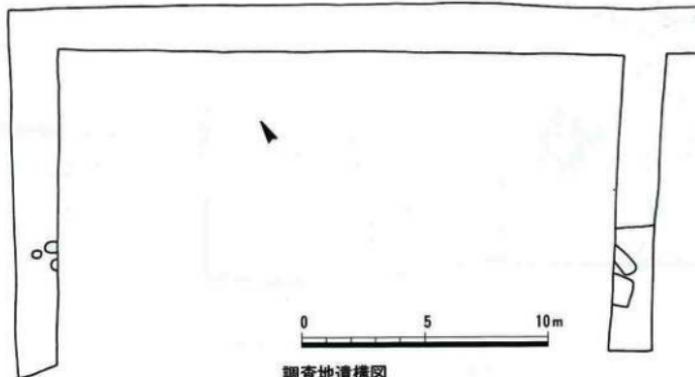


調査地位置図

調査風景▶



高野遺跡の南端部における調査である。調査地の東約200mの地点では古墳時代前期の竪穴住居群が検出されている。この調査は造成工事に伴う試掘調査で、ピットが検出されたが顕著な遺物は出土していない。

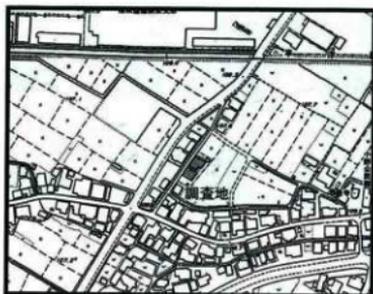


調査地遺構図

28. 高野遺跡

(85R092-07)

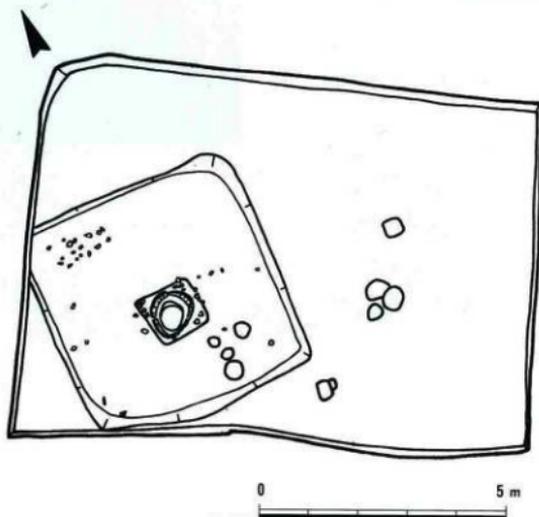
ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町小野字亥之子914-5 北緯 35° 01' 23" 東経 136° 00' 29"
コード	321-092
調査期間	1986年1月29日～2月15日
調査面積	80㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	近藤 広
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	平安時代
主な遺構	井戸
主な遺物	灰釉陶器、黒色土器、白磁
特記事項	



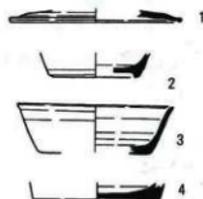
調査地位置図



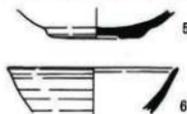
井戸



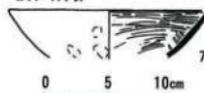
調査地遺構図



〈掘り方〉



(井戸枠内)

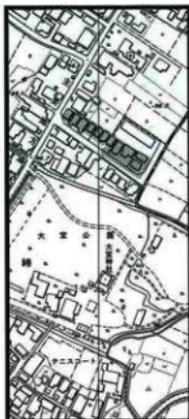


1～3 須恵器 4,5 白磁
6、灰釉陶器 7、黒色土器
井戸出土土器実測図

29. 緒 遺 跡

(85R093-01)

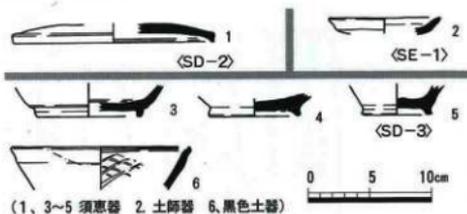
ふりがな	へそいせき
所在地	栗東町縄857-2他 北緯 35° 02' 18" 東経 135° 59' 01"
コード	321-093
調査期間	1985年4月25日～7月15日
調査面積	2,570㎡
調査原因	宅地造成
調査担当	清水好洋
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落
主な時代	弥生、奈良、平安時代
主な遺構	掘立柱建物、溝、落ち込み
主な遺物	弥生土器、須恵器、土師器、黒色土器
特記事項	



調査地位置図

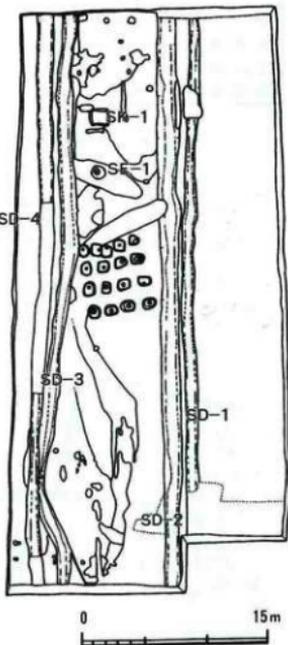


調査地



(1、3～5 須恵器 2. 土師器 6. 黒色土器)

出土遺物実測図

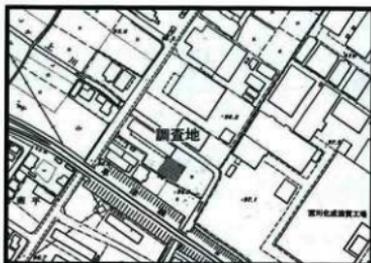


調査風景

30. 下 鈎 遺 跡

(85R092-01)

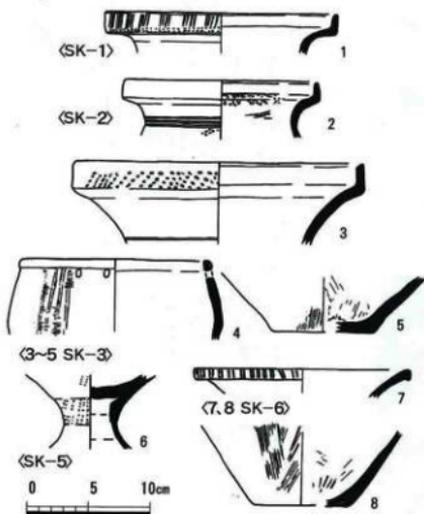
ふりがな	しもまがりいせき
所在地	栗東町下鈎字宮ノ北浦1170 北緯 35° 01' 38" 東経 135° 58' 51"
コード	321-095
調査期間	1985年9月2日～9月28日
調査面積	300㎡
調査原因	倉庫建設
調査担当	近藤 広
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	弥生時代
主な遺構	溝、土坑
主な遺物	弥生土器、須恵器
特記事項	文献1



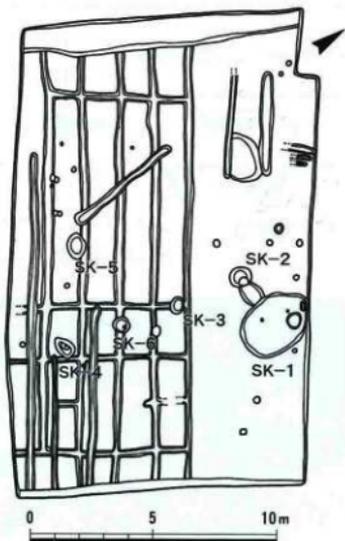
調査地位置図



SK-1



出土遺物（弥生土器）実測図



調査地遺構図

31. 下 鈎 遺 跡

(85 R 095-06)

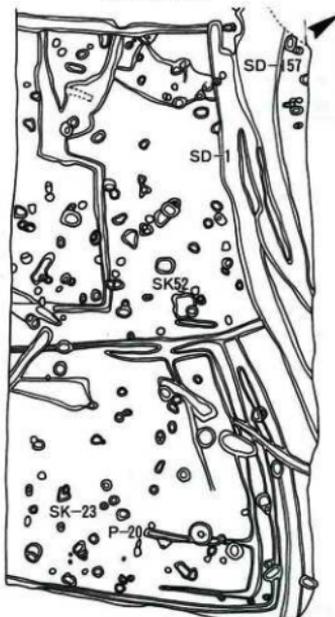
ふりがな	しもまがりいせき
所在地	栗東町下鈎字砂子102 北緯 35° 01' 22" 東経 135° 59' 25"
コード	321-095
調査期間	1985年12月13日～1986年2月22日
調査面積	350㎡
調査原因	実験棟建築工事
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	古墳時代、中世
主な遺構	溝、ピット
主な遺物	須恵器、土師器
特記事項	



調査地位置図



調査地全景



調査地遺構図

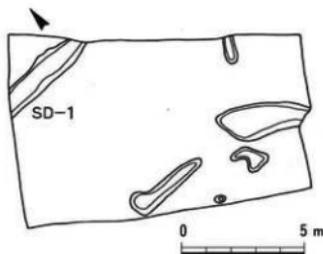
32. 下 鈎 遺 跡

(85R095-02)

ふりがな	しもまがりいせき
所在地	栗東町下鈎字西浦1017-1 北緯 35° 01' 31" 東経 135° 58' 56"
コード	321-095
調査期間	1985年10月29日～10月31日
調査面積	80㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	松村 浩
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	弥生・古墳時代
主な遺構	溝、ビット
主な遺物	須恵器、土師器
特記事項	



調査地位置図



調査地遺構図



調査地

この調査区では溝・土坑・ビットが出土した。調査区北端で検出された東西方向の溝（SD-1）からは古墳時代の須恵器が1片出土している。

この調査区の南に隣接する85R095-08調査区でもSD-1と同様の方向を取る溝が出土しており、弥生土器のほか上層からは須恵器が出土しているため、両溝はつながるものと考えられる。

33. 下 鈎 遺 跡

(85R095-03)

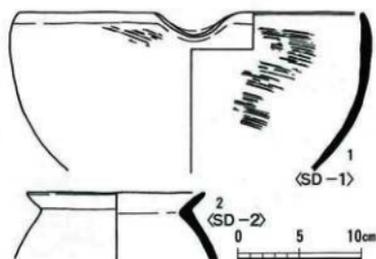
ふりがな	しもまがりいせき
所在地	栗東町下鈎字砂田1143
	北緯 35° 01' 43"
	東経 135° 59' 01"
コード	321-095
調査期間	1985年7月22日～11月15日
調査面積	800㎡
調査原因	造成工事
調査担当	清水好洋
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	弥生時代
主な遺構	溝
主な遺物	須恵器、土師器、木製品
特記事項	



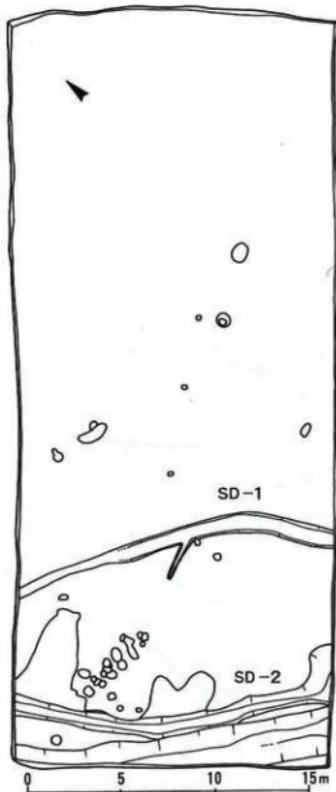
調査地位置図



調査地



出土遺物実測図

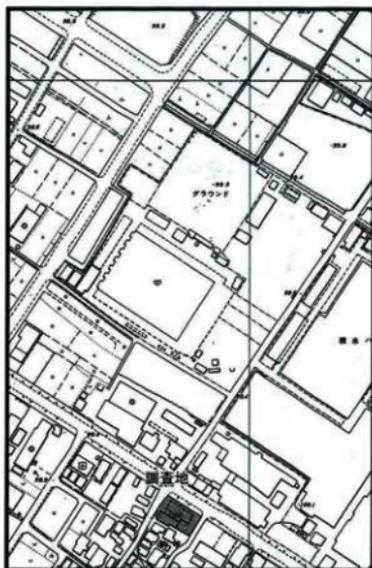


調査地遺構図

34. 下 鈎 遺 跡

(85R095-05)

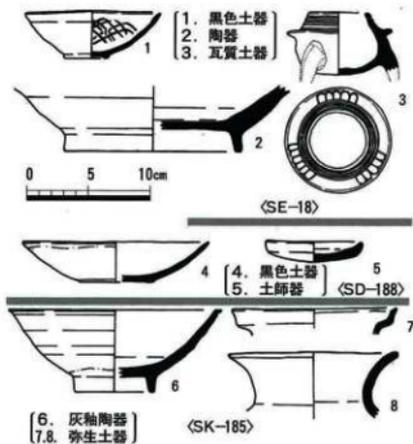
ふりがな	しもまがりいせき
所在地	栗東町下鈎字奥屋敷616他 北緯 35° 01' 37" 東経 135° 59' 18"
コード	321-095
調査期間	1985年12月5日～1986年3月30日
調査面積	770㎡
調査原因	ガソリンスタンド建設
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	中世
主な遺構	掘立柱建物、溝、井戸
主な遺物	土師器、黒色土器、瓦器、陶器
特記事項	文献5



調査地位置図

この調査区では、掘立柱建物、井戸、土坑および濠状の溝が検出された。

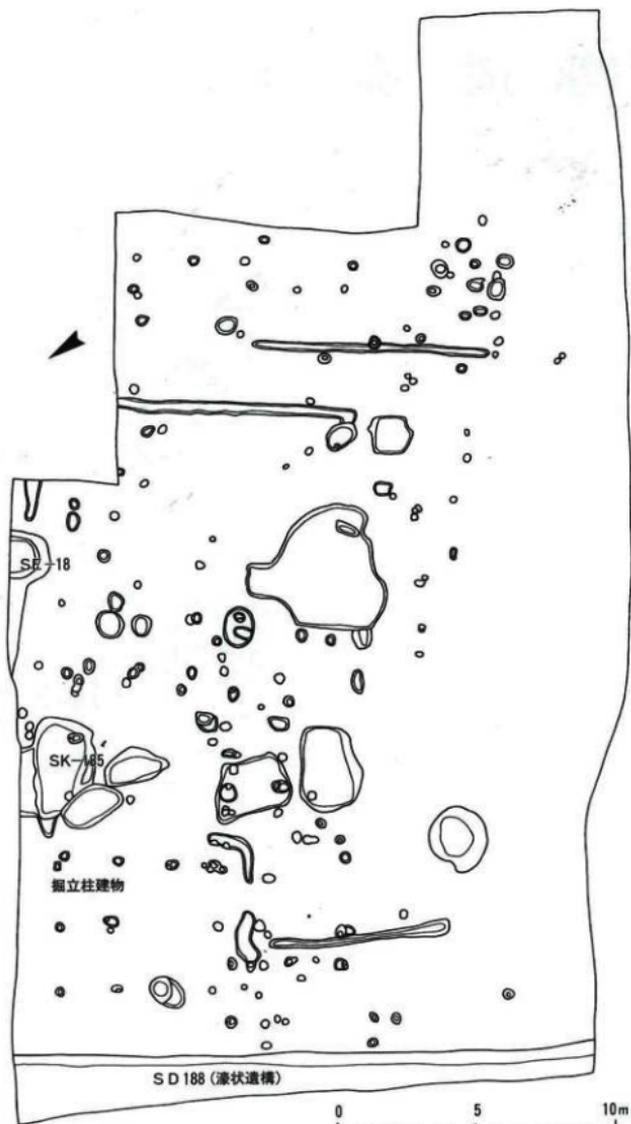
隣接調査地区の成果もふまえて、調査地区周辺が周囲に濠をめぐるせた居館もしくは城であった可能性が考えられている。出土遺物には土師器・黒色土器・瓦器・瀬戸灰軸等、14～15世紀のものがある。



出土遺物実測図



調査地



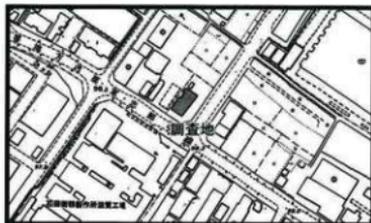
遺構図

35. 下 鈎 遺 跡

(85R095-07)

ふりがな	しもまがりいせき
所在地	栗東町下鈎字大賀町913-1 北緯 35° 01' 43" 東経 135° 59' 11"
コード	321-095
調査期間	1985年4月15日～5月31日
調査面積	1,334㎡
調査原因	事務所建設
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	縄文、古墳時代
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物、流路
主な遺物	縄文土器、須恵器、土師器、木器
特記事項	

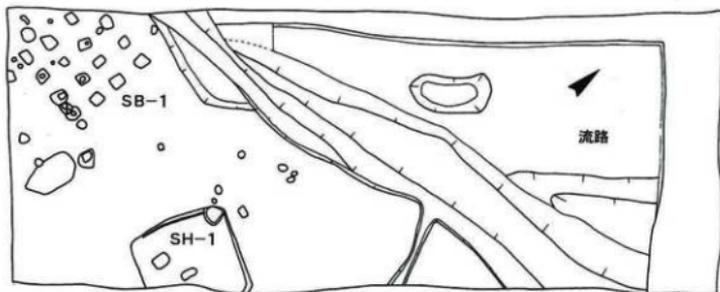
下鈎遺跡の北東端部に位置する調査区で、東西方向に流れる流路が検出された。最下層からは縄文土器（中津式）がまとも出土した。下層からは弥生時代末～古墳時代後期の土器が出土している。ほかに、掘立柱建物・竪穴住居が検出されている。



調査地位置図

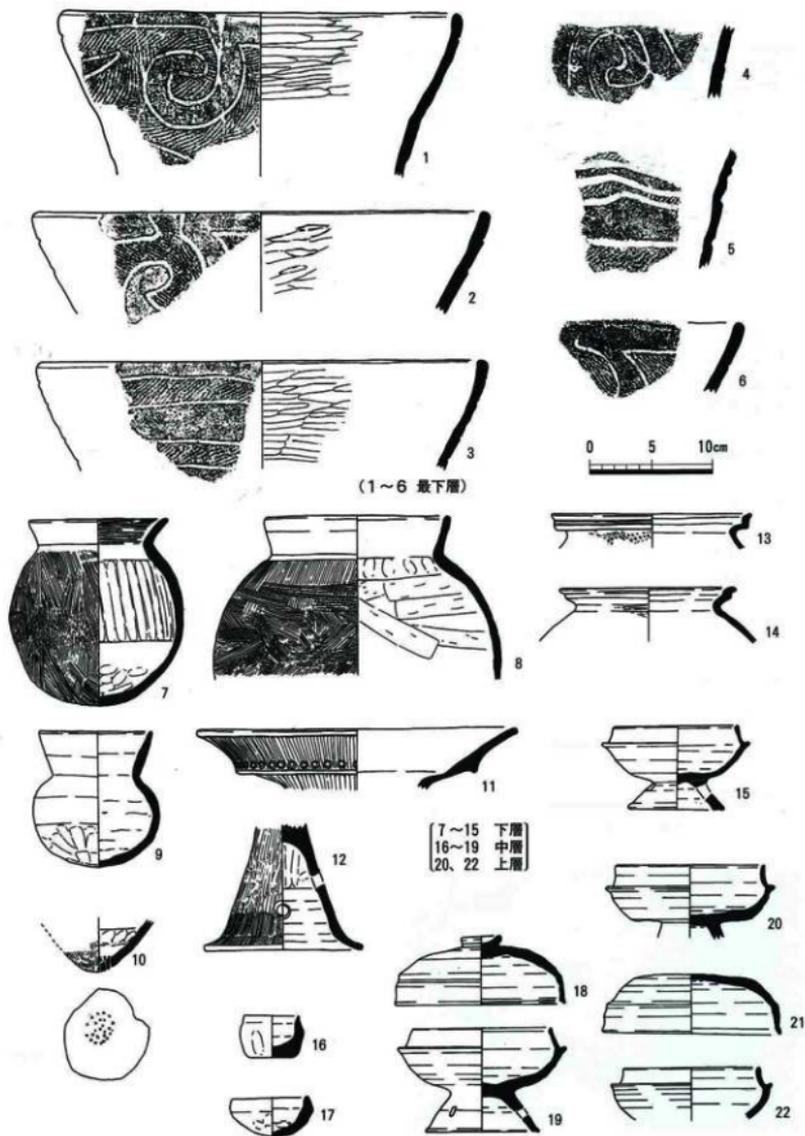


大足出土状況（大溝）



調査地





流路出土遺物実測図

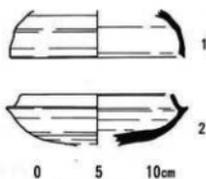
36. 下 鈎 遺 跡

(85R095-08)

ふりがな	しもまがりいせき
所在地	栗東町下鈎字西浦1020-1他 北緯 35° 01' 31" 東経 135° 58' 55"
コード	321-095
調査期間	1985年
調査面積	650㎡
調査原因	共同住宅建設
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落
主な時代	弥生～飛鳥時代
主な遺構	掘立柱建物、溝
主な遺物	須恵器、土師器
特記事項	文献4、5



調査地位置図

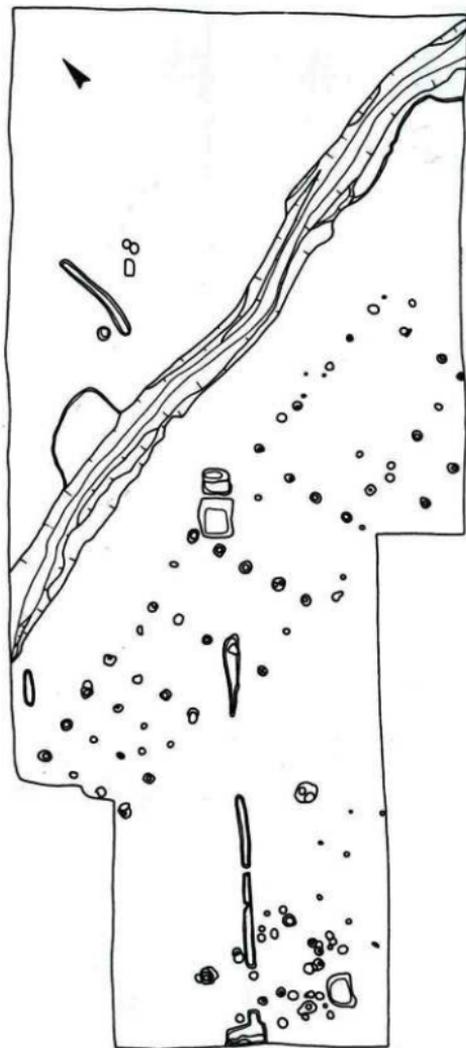


大溝出土遺物実測図



この調査区では、溝・掘立柱建物が発出された。溝は北西から南東方向のもので、幅1.5～2m、深さ約1mで、断面はV字に近い逆台形を呈する。弥生土器のほか、上層からは古墳時代後期の須恵器が出土している。弥生時代の環濠の可能性も考えられている。

また溝に沿うようにして5×3間、4×2間、3×3間の掘立柱建物とならび、さらに南側に2×2間以上の掘立柱建物がある。これらはコの字もしくは口の字の建物群構成をとる可能性がある。建物のうち1棟の柱穴のから、7世紀の須恵器が出土しており、当該期における有力者の居宅である可能性がある。さらに南側の1棟に近接して小規模な建物も存在する。



調査地遺構図

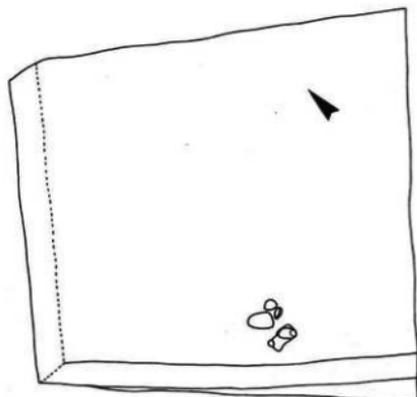
37. 下 鈎 遺 跡

(85R095-04)

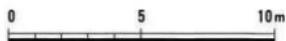
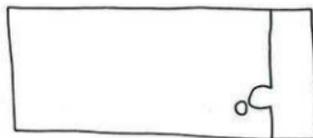
ふりがな	しもまがりいせき
所在地	栗東町下鈎字砂田1144-1他 北緯 35° 01' 45" 東経 135° 59' 01"
コード	321-095
調査期間	1985年11月18日～12月7日
調査面積	220㎡
調査原因	造成工事
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	不明
主な遺構	溝、ビット
主な遺物	土師器
特記事項	



調査地位置図



調査地



調査地地構図

下鈎遺跡の北東端部での調査である。この調査では、条里方向の溝および時期不明のビットが出土したのみである。

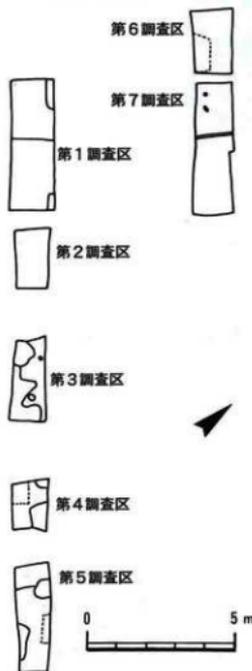
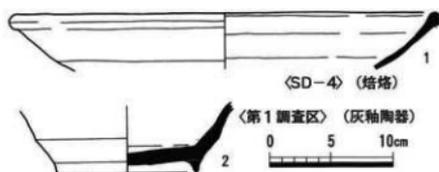
38. 小 柿 遺 跡

(85R100-01)

ふりがな	おがきいせき
所在地	栗東町小柿地先 北緯 35° 01' 17" 東経 135° 58' 45"
コード	321-100
調査期間	1985年11月1日～12月27日
調査面積	711㎡
調査原因	道路建設
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落、墓
主な時代	弥生～平安時代
主な遺構	土坑、ピット
主な遺物	弥生土器、灰軸陶器、土師器
特記事項	



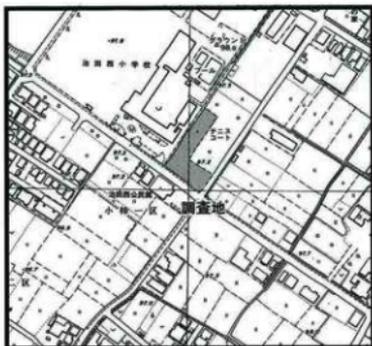
調査地位置図



39. 小 柿 遺 跡

(85R100-02)

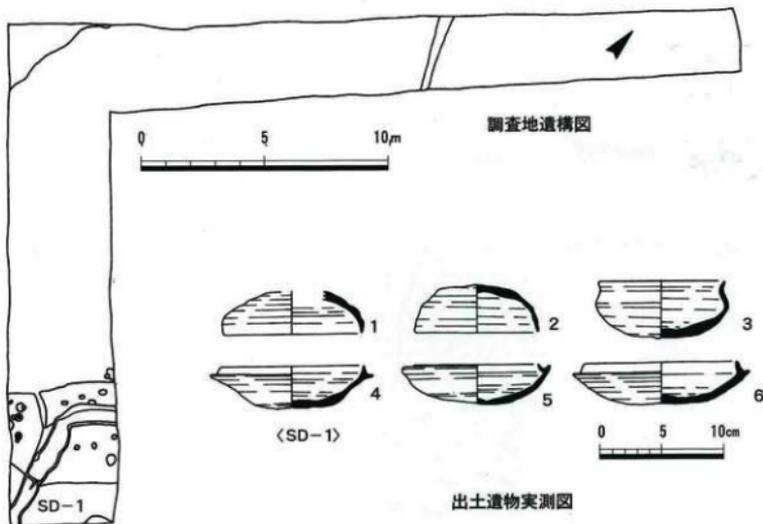
ふりがな	おがきいせき
所在地	栗東町小柿391-1他 北緯 35° 01' 20" 東経 135° 58' 40"
コード	321-100
調査期間	1985年10月14日～11月23日
調査面積	2000㎡
調査原因	草の根広場
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	古墳～平安時代
主な遺構	溝、ピット
主な遺物	須恵器、土師器
特記事項	



調査地位置図



調査地南端部



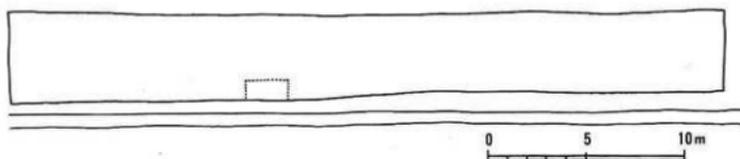
40. 小 柿 遺 跡

(85R100-03)

ふりがな	おがきいせき
所在地	栗東町小柿地先 北緯 35° 01' 24" 東経 135° 58' 51"
コード	321-100
調査期間	1985年11月25日～12月25日
調査面積	270㎡
調査原因	道路建設
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落
主な時代	不明
主な遺構	包含層
主な遺物	近世陶磁器
特記事項	



調査地位置図



▲ 調査地遺構図



◀ 調査地

この調査では顕著な遺構・遺物は出土していない。

参考文献

1. 近藤 広「下鉤遺跡発見の弥生時代の櫛列について」『栗東の文化』vol. 14 財団法人栗東町文化体育振興事業団1988
2. 近藤 広「周溝状遺構の検討」『栗東の文化』vol. 13 財団法人栗東町文化体育振興事業団1987
3. 栗東町教育委員会・財団法人栗東町文化体育振興事業団『遺跡の発掘』1987
4. 栗東町史編さん委員会『栗東の歴史』第1巻 古代・中世編1988
5. 栗東町史編さん委員会『栗東の歴史』第4巻 資料編 I 1994

発行日 2001 (平成13) 年11月30日

1985 年度
栗東町埋蔵文化財
発掘調査資料集

編集・発行 財団法人栗東市文化体育振興事業団
埋蔵文化財調査課
〒520-3011
滋賀県栗東市下戸山47番地
栗東市出土文化財センター内
TEL. 077-553-3359
FAX. 077-553-3514

印刷・製本 株式会社スマイ印刷工業
〒520-3014
滋賀県栗東市川辺568-2
TEL. 077-552-1045代
FAX. 077-552-0890